

# 平成 22 年度 鱒ヶ沢町住民意識調査結果

## 1 目 的

本調査は、町民の意識の動向や町の施策・まちづくりに対する考え方を把握し、住民と協働のまちづくりを進めていくための基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2 調査対象

鱒ヶ沢町に在住する満18歳以上の町民を対象としました。

## 3 標本数及び抽出方法

住民基本台帳より無作為に抽出する2,000 人を対象としました。

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 調査期間

平成22年7月1日 ～ 7月20日

## 6 主な調査項目

- ◎ 鱒ヶ沢町の現状について（施策、生活環境に対する満足度）
- ◎ 環境問題への取り組み      ◎ 高齢化社会に向けて
- ◎ 健康づくりについて      ◎ 生涯スポーツについて
- ◎ 生涯学習について
- ◎ まちづくりへの関心・意識について
  - ・まちづくりへの関心度    ・まちづくりへの参加意識
  - ・まちづくり制度等の認知度
- ◎ 役場への満足度      ◎ 今後の優先する施策について
- ◎ まちづくり、施策への意見・提言

## 7 回収結果

有効回収数 659票      回収率 33.0%

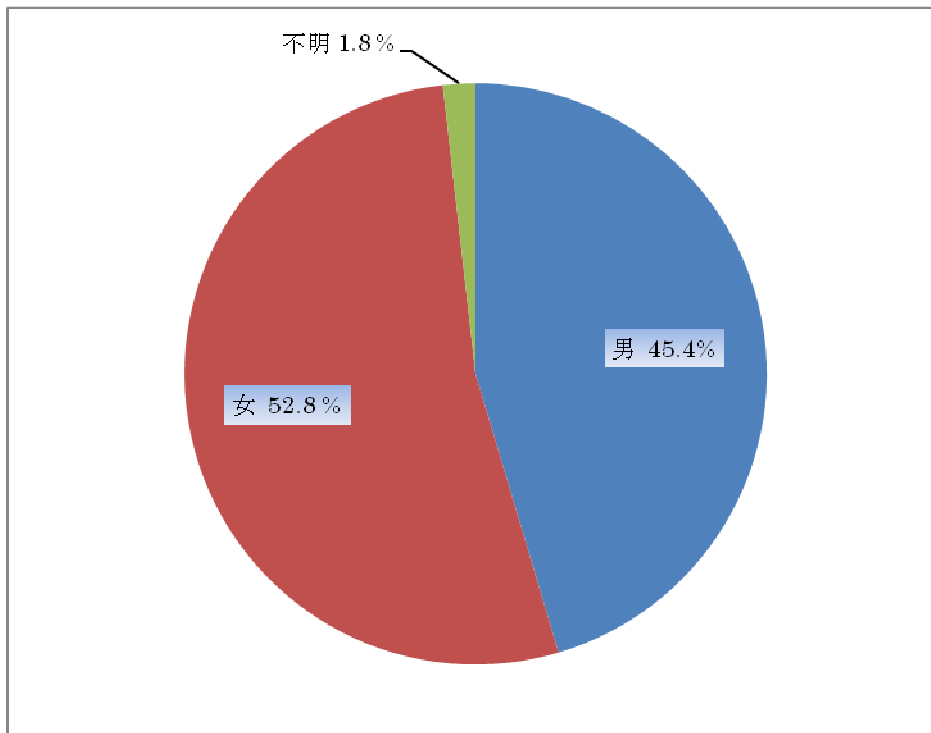
## 8 その他

- ・調査結果の比率は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問は、回答者比率（総回答者に占める割合）で表示しています。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いています。

(一般的事項)

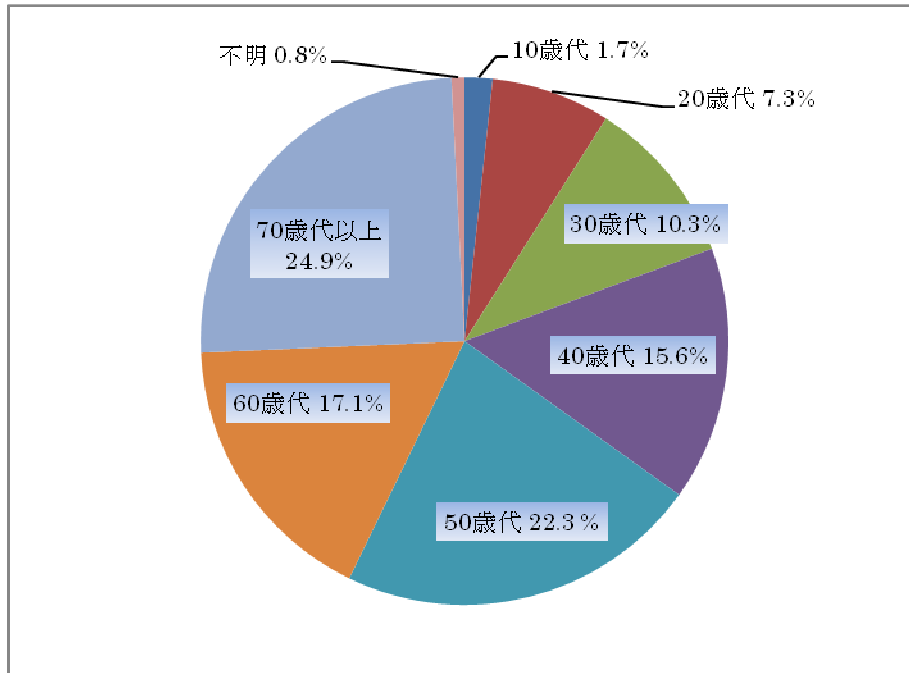
問 1

(1) あなたの性別についておたずねします。

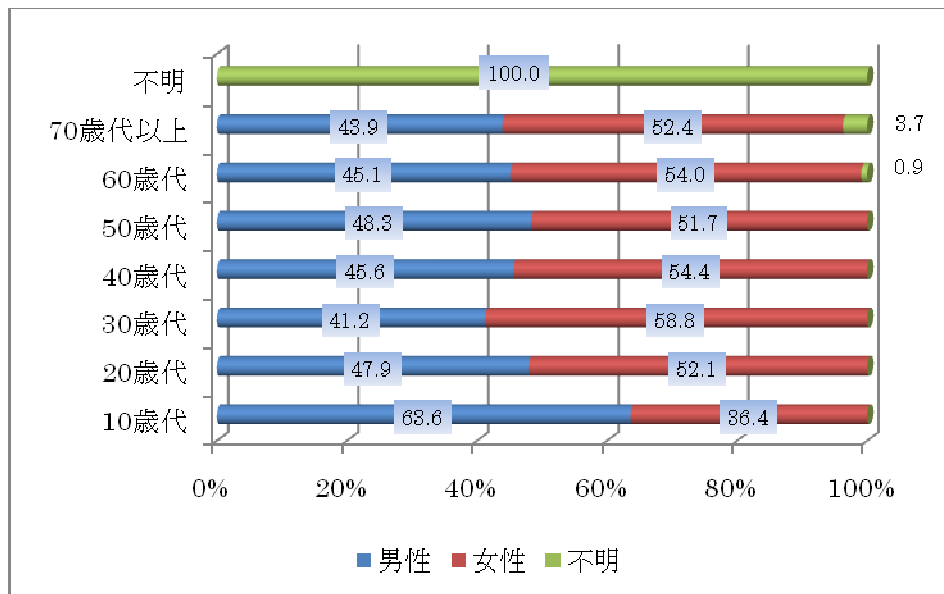


回答者の性別では、女性が7.4ポイント近く上回っています。

(2) あなたの年齢についておたずねします。

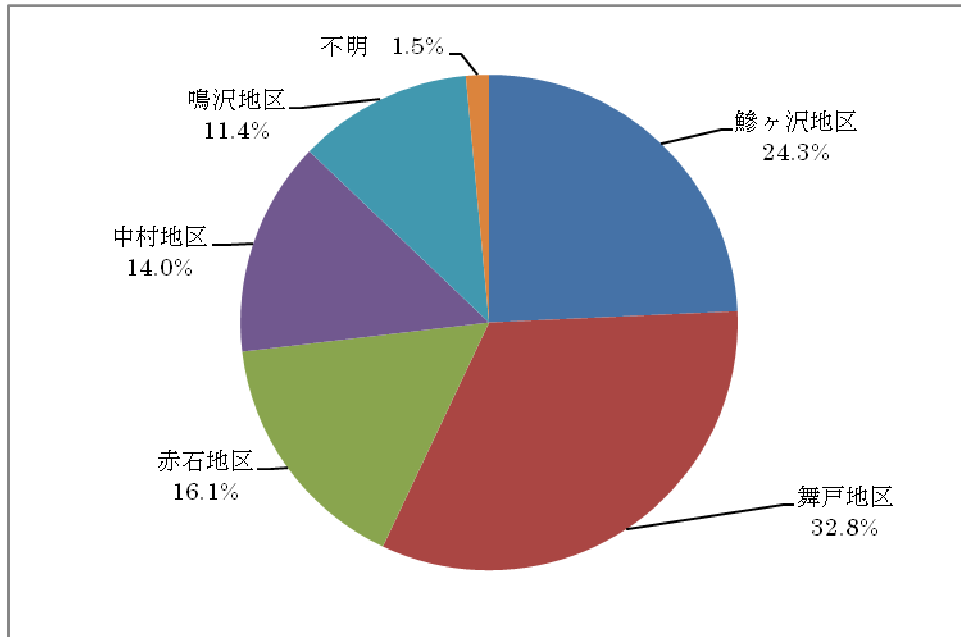


回答者の年齢構成は、70歳代が24.9%と最も多く、次いで50歳代の22.3%、60歳代の17.1%、40歳代の15.6%となっています。

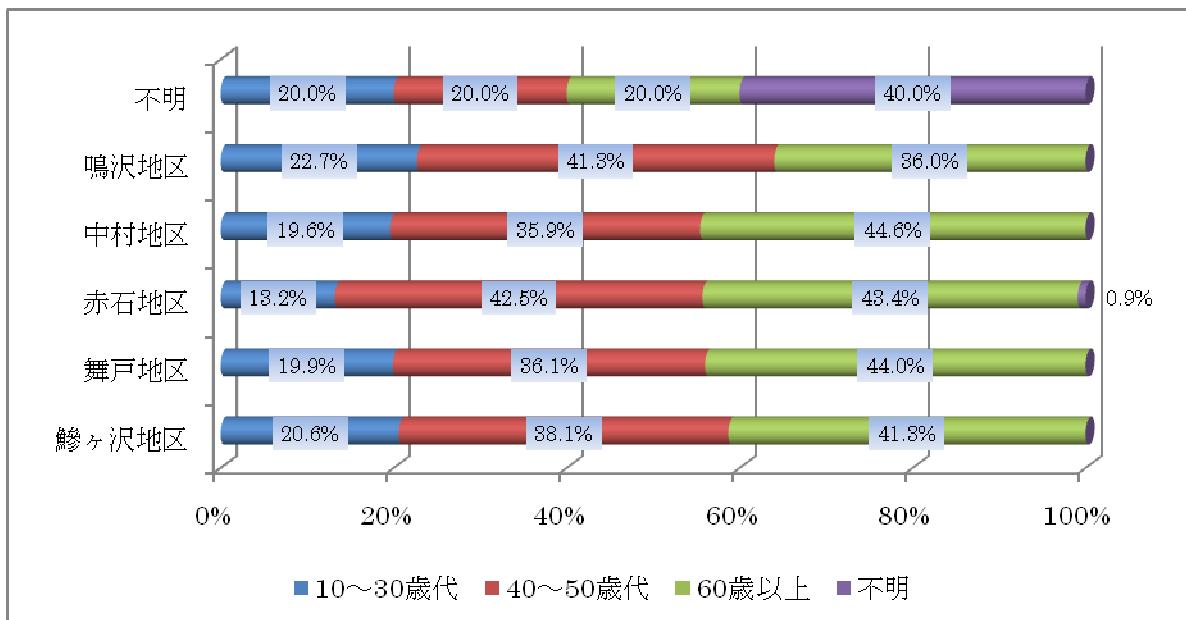


年齢別に回答者の性別を見ると、10歳代以外は女性の割合が多く、特に30歳代の女性の割合が58.8%と最も高い結果となりました。

(3) あなたの住んでいる地域についておたずねします。

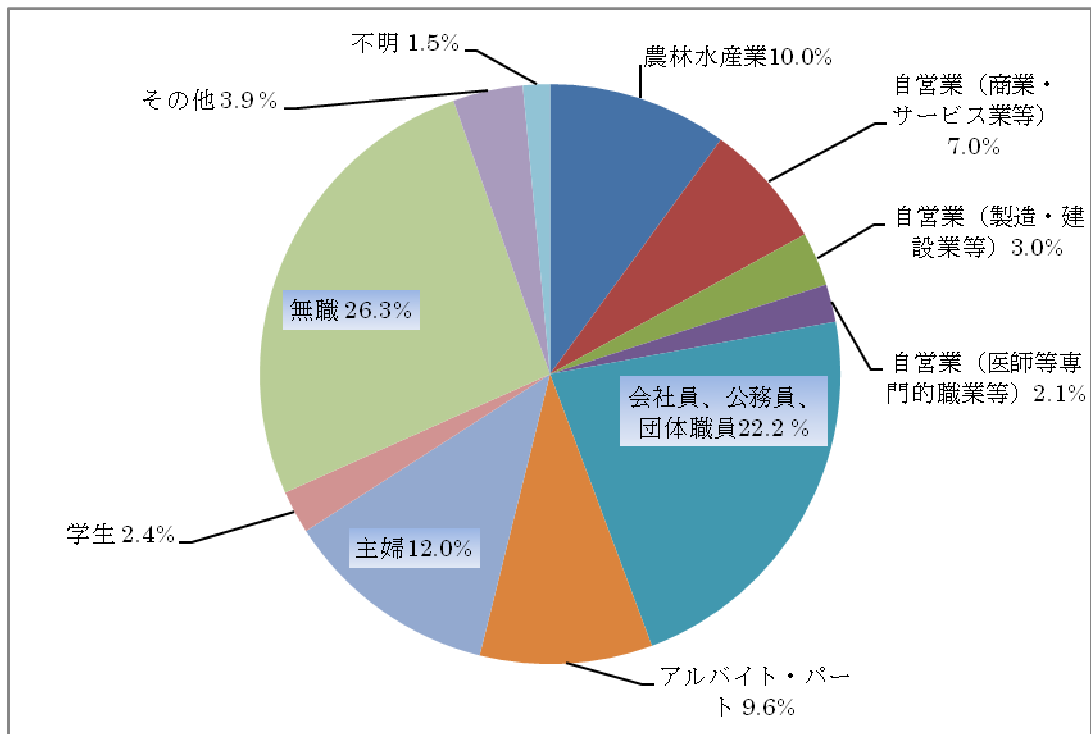


回答者の居住状況を地区別で見ると、舞戸地区が32.8%で最も多く、次いで鱒ヶ沢地区、赤石地区、中村地区、鳴沢地区となっています。因みに地区別の回収率は、舞戸地区36.0%、赤石地区35.3%、鱒ヶ沢地区32.0%、中村地区30.7%、鳴沢地区25.0%となっています。



地区ごとに年齢別で見ると、高齢化を反映して60歳以上回答者数の地区が多い中、鳴沢地区のみは40~50歳代の回答者数が多い特徴点があります。

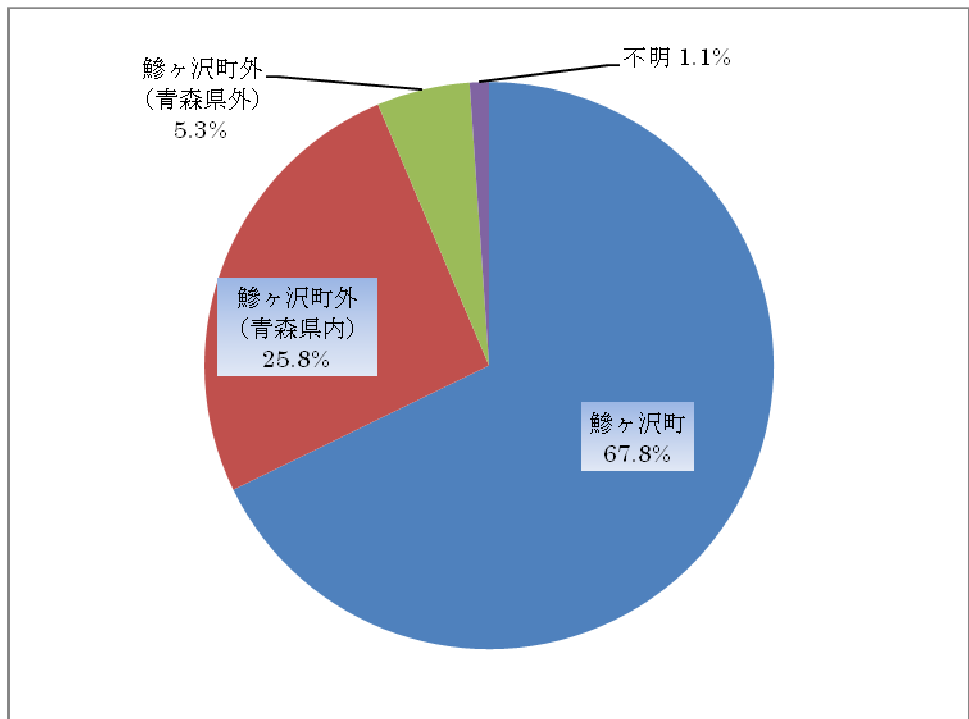
(4) あなたの職業についておたずねします。



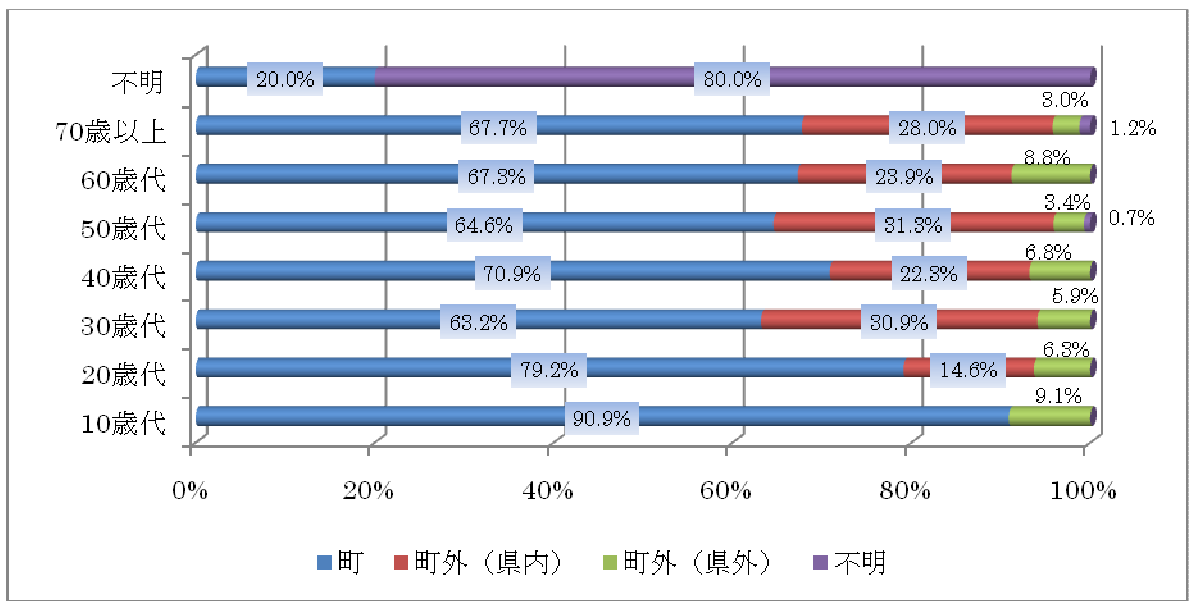
職業別でみると、無職が26.3%と最も多い結果となり、次いで会社員等の従事者が22.2%、主婦12.0%、農林水産業10.0%、アルバイト・パート9.6%となっています。

上記結果は、既にリタイアしている高齢の回答者が多いということも一つの要因ではありますが、一方では、現在の雇用情勢、経済情勢が多分に影響しているものと推察されます。

(5) あなたの出身地はどちらですか

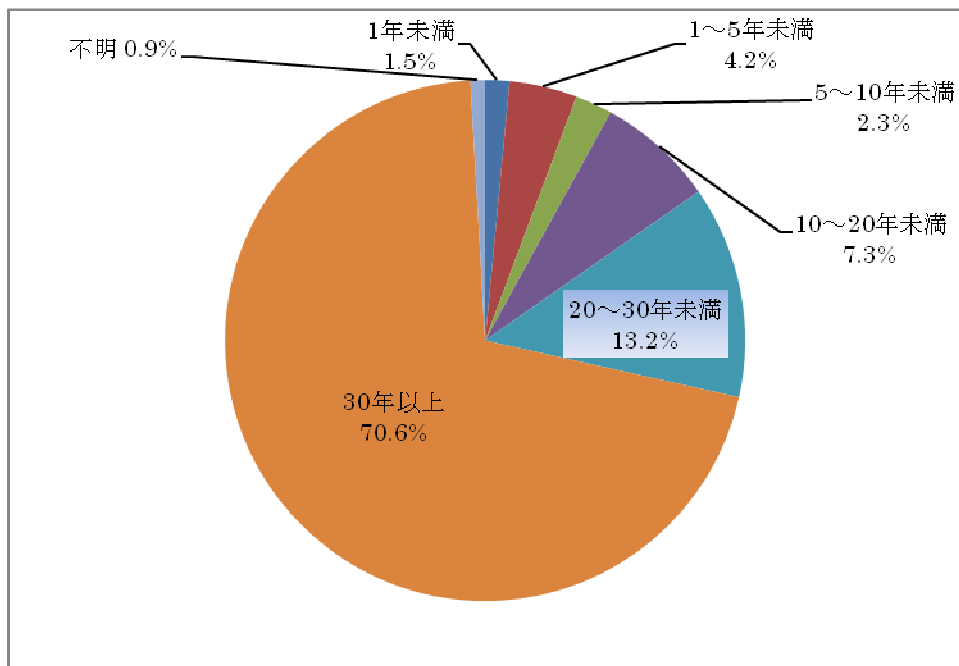


出身地別で見ると、鯉ヶ沢町出身者が67.8%を占めています。鯉ヶ沢町以外の出身者では、青森県内出身者が25.8%、青森県外出身者が5.3%となっています。

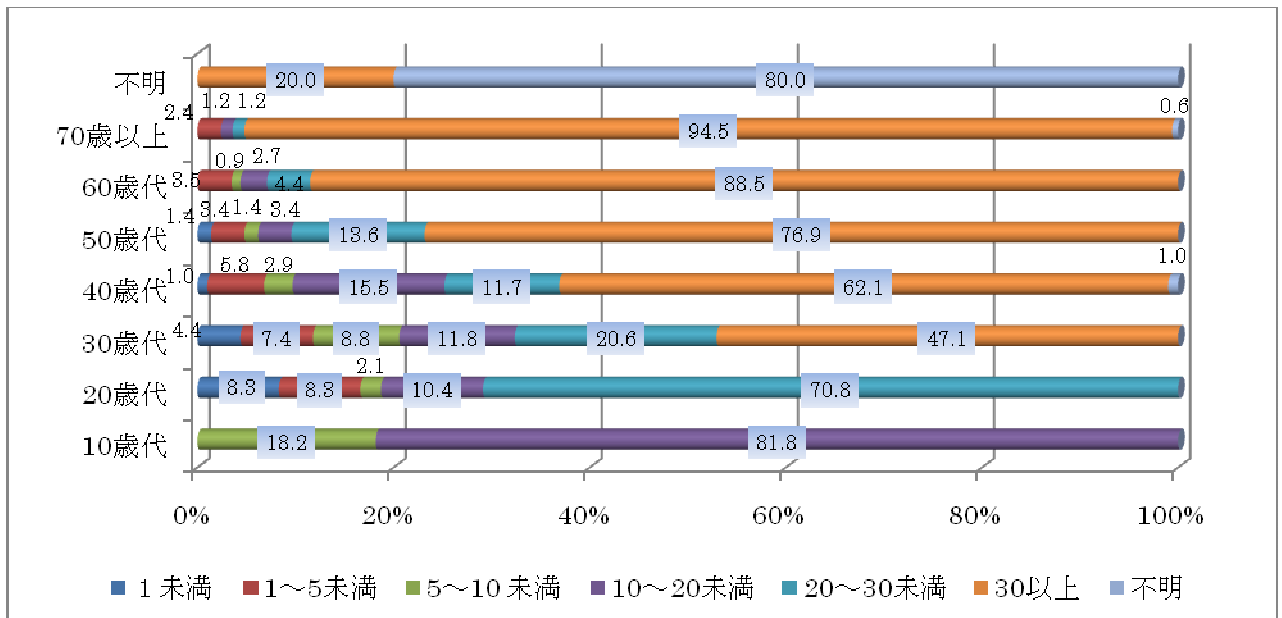


出身地を年齢別にみると、30歳代と50歳代の町外出身者の割合が他世代よりも多くなっています。

(6) あなたは鱒ヶ沢町に住んで何年（通算）になりますか。

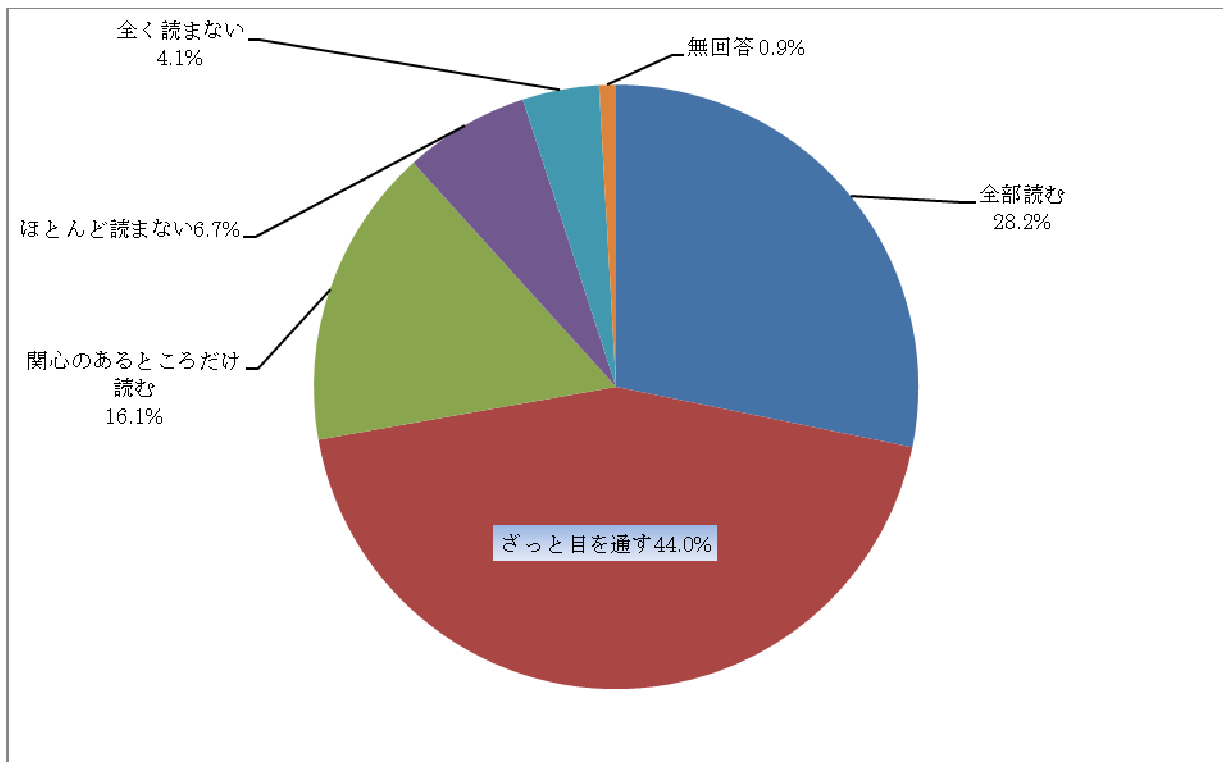


町在住年数別でみると、30年以上住んでいる回答者が70.6%と最も多く、次いで20～30年未満の13.2%、10～20年未満の7.3%となっています。全体の80%以上の回答者が20年以上町に住んでいることとなります。また、在住年数10年未満は、8.0%となっています。



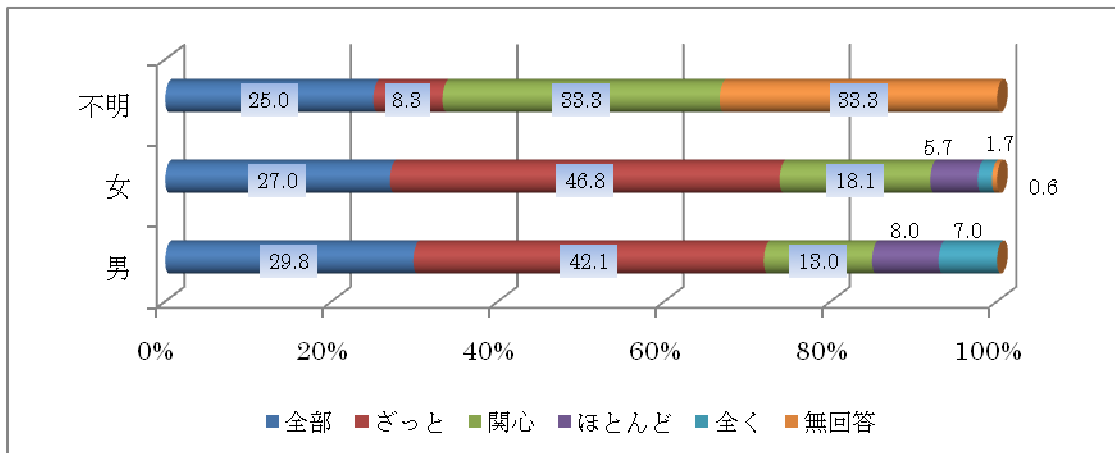
在住年数を年齢別でみると、10年未満の在住年数では、30歳代の割合（10歳代は対象外）が高くなっています。

(7) あなたは「広報あじがさわ」を読んでいますか。



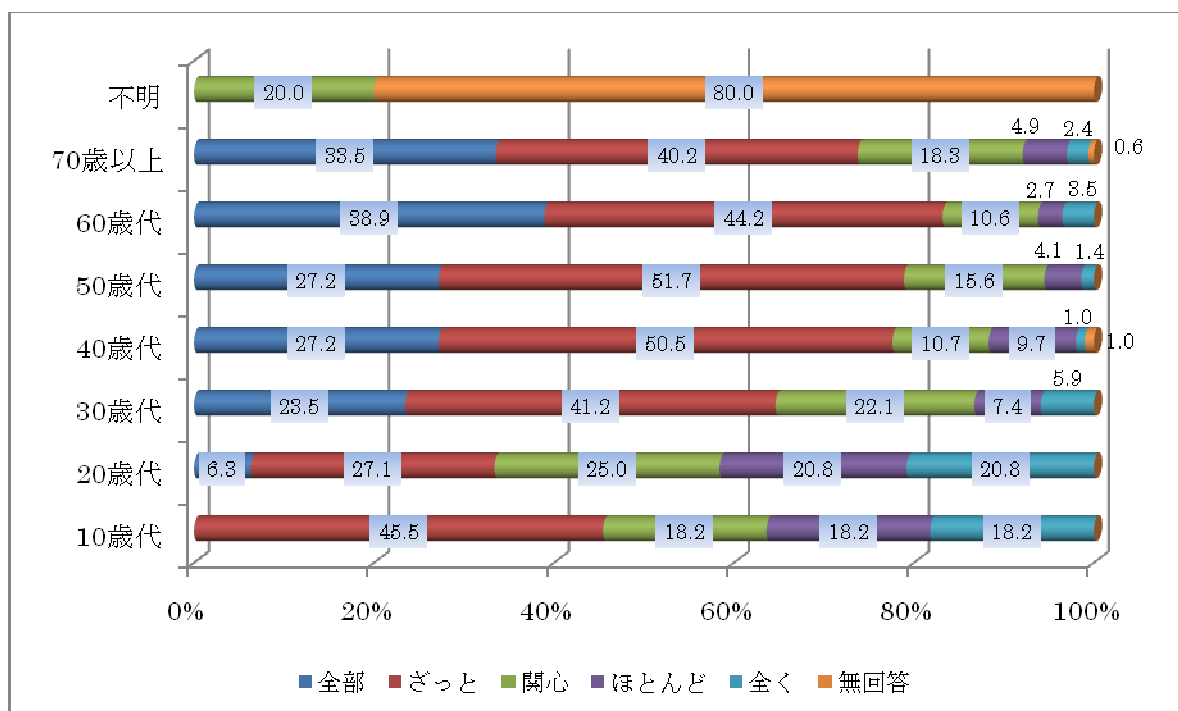
町の情報を提供する広報の読まれ方をみると、「ざっと目を通す」が44.0%と最も多く、次いで「全部読む」が28.2%、「関心のあるところだけ読む」が16.1%となっています。「ほとんど読まない」、「全く読まない」の割合は10.8%となっています。

○性別



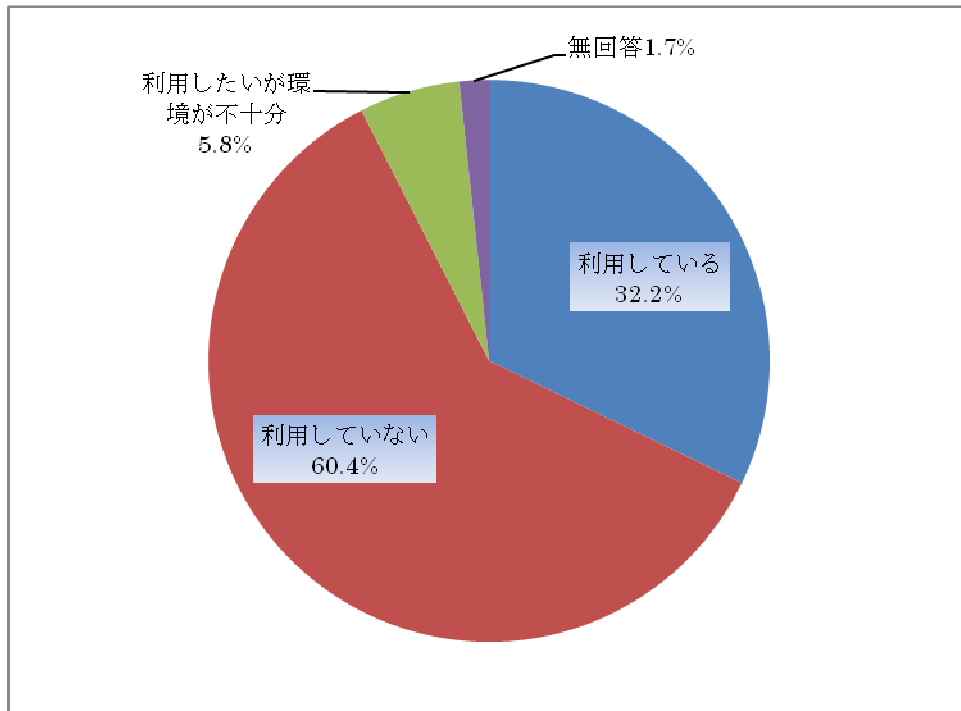


○年齢別



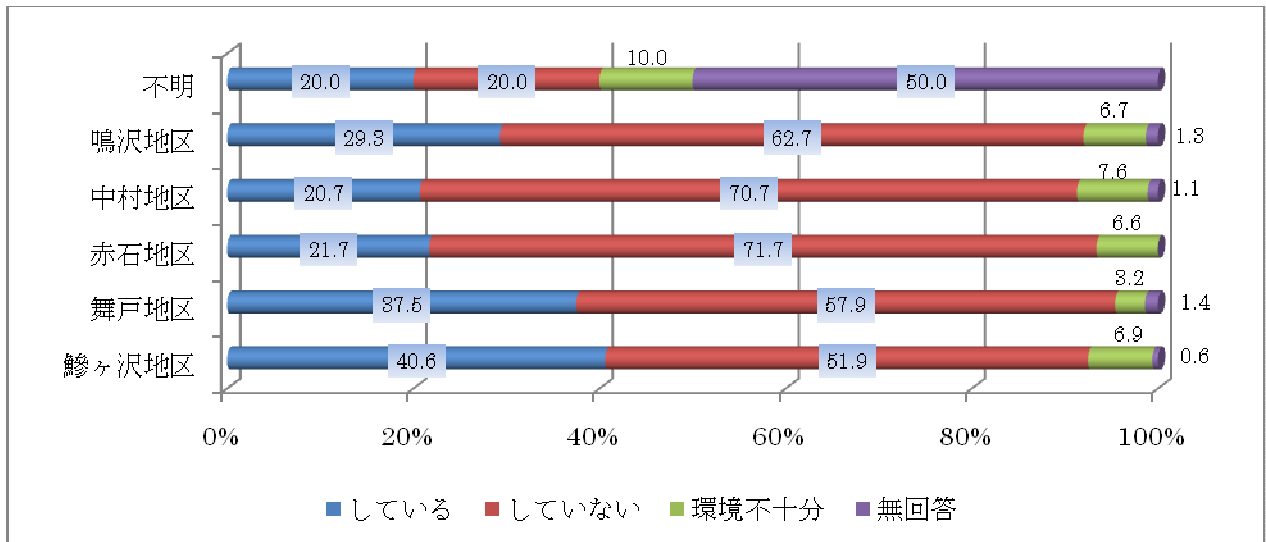
また、年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「全部読む」割合が多くなっています。「ざっと目を通す」は、50歳代、40歳代、60歳代の順に割合が多くなっています。一方、「ほとんど読まない」、「全く読まない」の割合は年齢層が若くなるほど多くなっています。

(8) あなたの家庭では、インターネットを利用（接続）していますか。



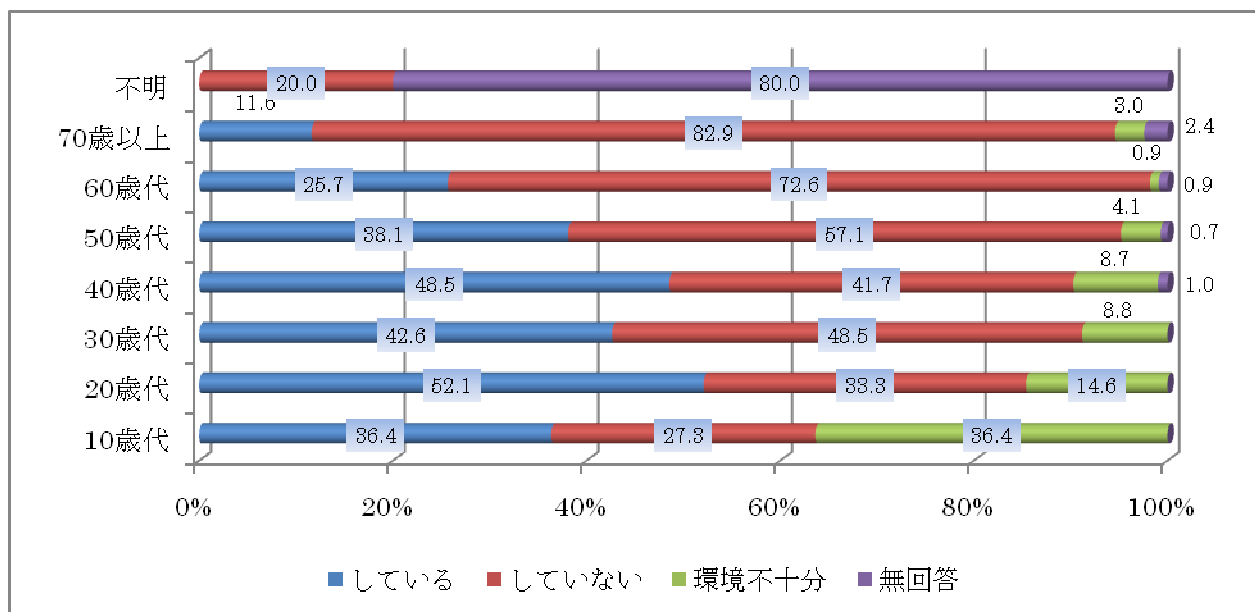
インターネットの利用状況を見ると、「利用している」が32.2%で、「利用したいが環境が不十分」の5.8%を加えると38.0%となり、約4割のニーズが潜在的にあることが明らかとなりました。

○地区別



また、地区別でみると、鱒ヶ沢地区の40.6%が最も多く、次いで舞戸地区の37.5%、鳴沢地区の29.3%、赤石地区の21.7%、中村地区の20.7%となっています。

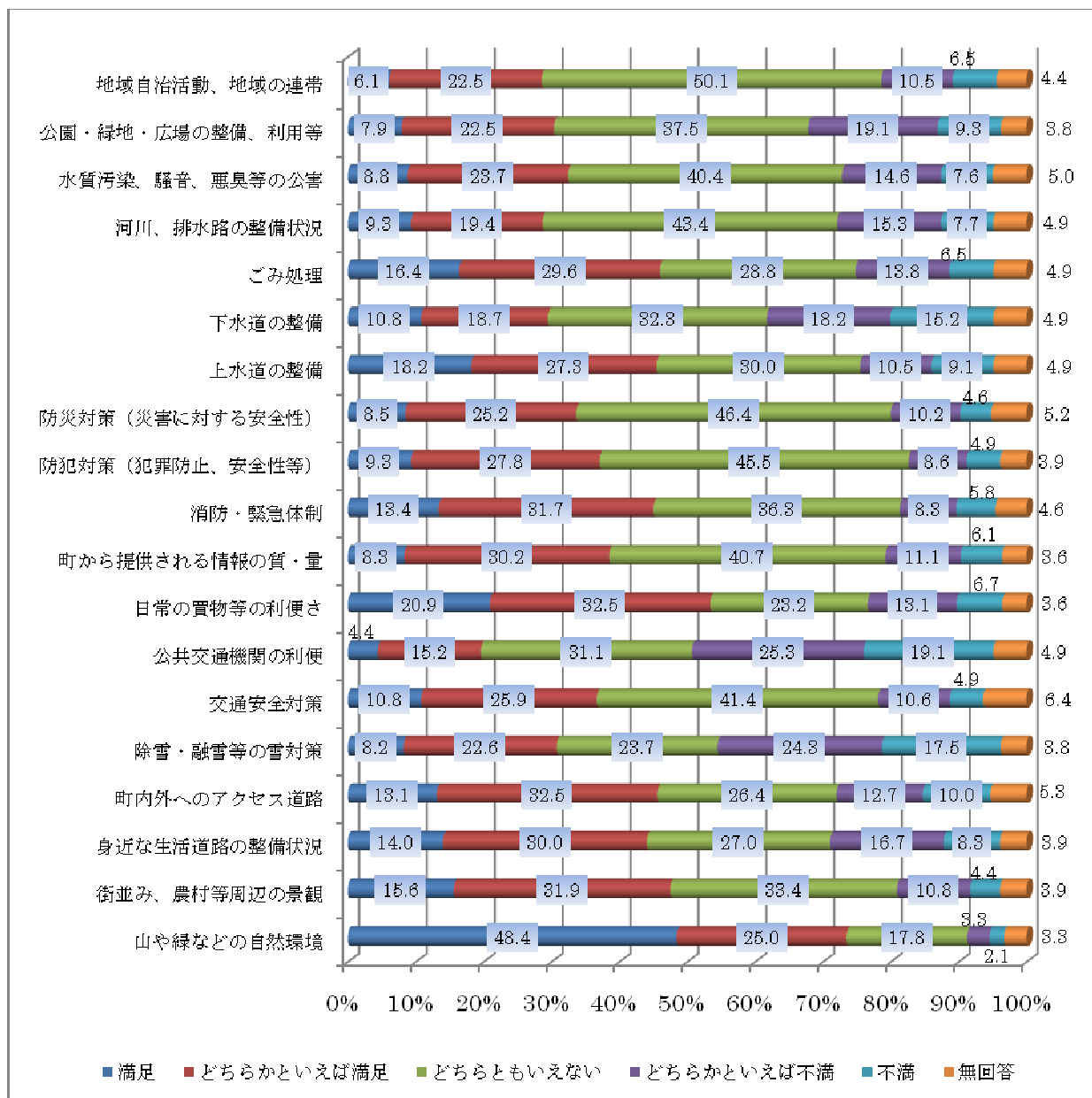
○年齢別



年齢別でみると、20歳代が最も多く52.1%、次いで40歳代の48.5%、30歳代の42.6%となっています。

## 問2 あなたは、町の生活環境等についてどのように感じていますか。

### 【生活環境】

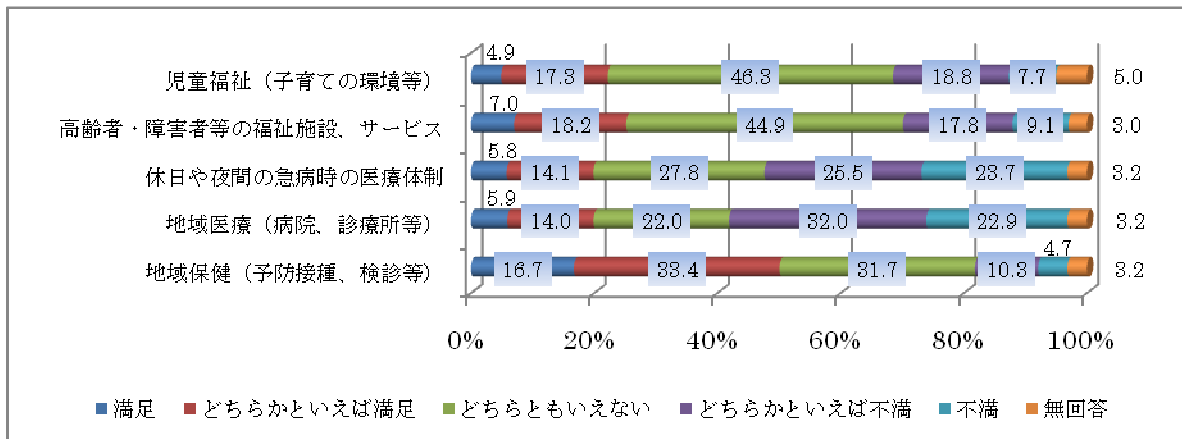


生活環境に対する満足度については、「満足である」と「どちらかといえば満足である」を合わせた満足傾向をみると、「山や緑などの自然環境」が73.4%で最も高く、次いで「日常の買物等の利便さ」の53.4%、「街並み、農村等周辺の景観」の47.5%、「ごみ処理」の46.0%、「町内外のアクセス道路」の45.6%、などとなっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた不満傾向をみると、「公共交通機関の利便」に対する不満の割合が最も高く44.4%で、次いで「除雪・融雪等の雪対策」の41.8%、「下水道の整備」の33.4%、「公園・緑地・広場の整備、利用等」の28.4%、「身近な生活道路の整備状況」の25.0%、などとなっています。

また、「地域自治活動」、「防災対策」、「防犯対策」等に対する評価では、「どちらともいえない」という判断が半数以上若しくはそれに近い割合となっています。

## 【保健・医療・福祉】

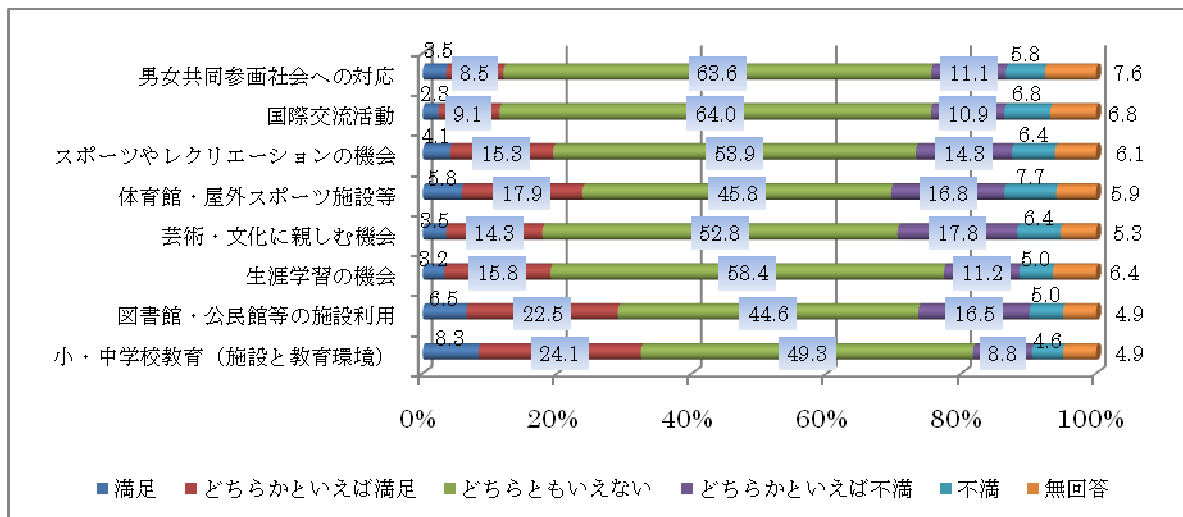


保健・医療・福祉に対する満足度については、「満足である」と「どちらかといえば満足である」を合わせた満足傾向をみると、「地域保健 (予防接種、検診等)」が50.1%と全体の半数を超えています。次いで、「高齢者・障害者等の福祉施設、サービス」が25.2%となっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた不満傾向をみると、「地域医療 (病院、診療所等)」に対する不満の割合が最も高く54.9%で、次いで「休日や夜間の急病時の医療体制」の49.2%となっています。

また、「高齢者・障害者等の福祉施設、サービス」や「児童福祉 (子育ての環境等)」に関しては、「どちらともいえない」という判断割合が半数近くを占めています。

## 【教育・文化】

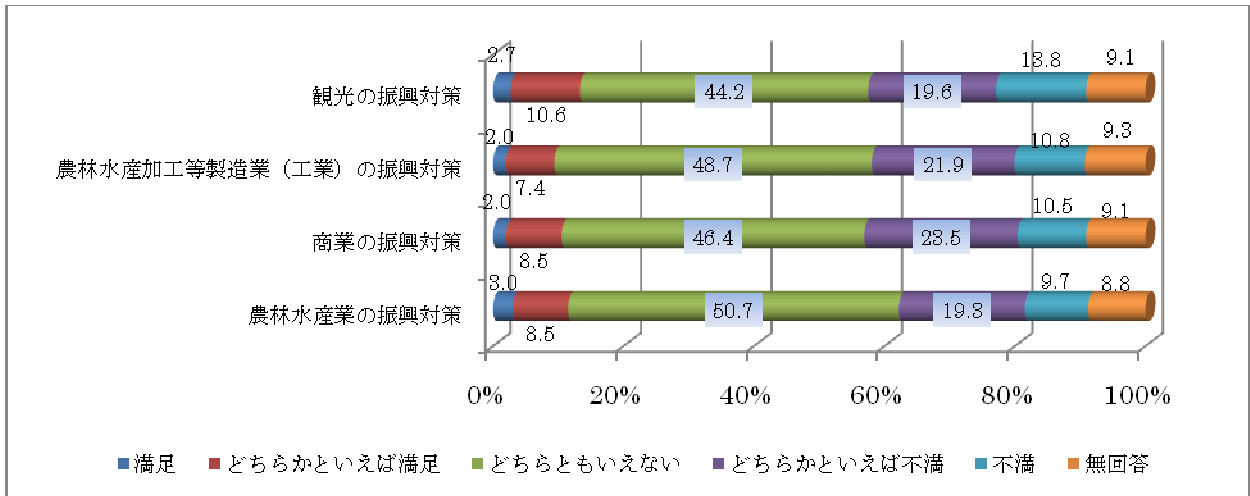


教育・文化に対する満足度については、各項目ともに「どちらともいえない」の割合が高くなっており、特に「国際交流活動」、「男女共同参画社会への対応」については、6割を超えています。

また、「満足である」と「どちらかといえば満足である」を合わせた満足傾向を見ると、「小・中学校教育 (施設と教育環境)」が32.4%と最も高く、次いで、「図書館・公民館等の施設利用」が29.0%となっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた不満傾向を見ると、「体育館・屋外スポーツ施設等」の24.5%がもっとも高く、各項目とも比較的不満傾向の割合は低くなっていますが、「どちらともいえない」の割合が多いことが注目されます。

## 【産業】

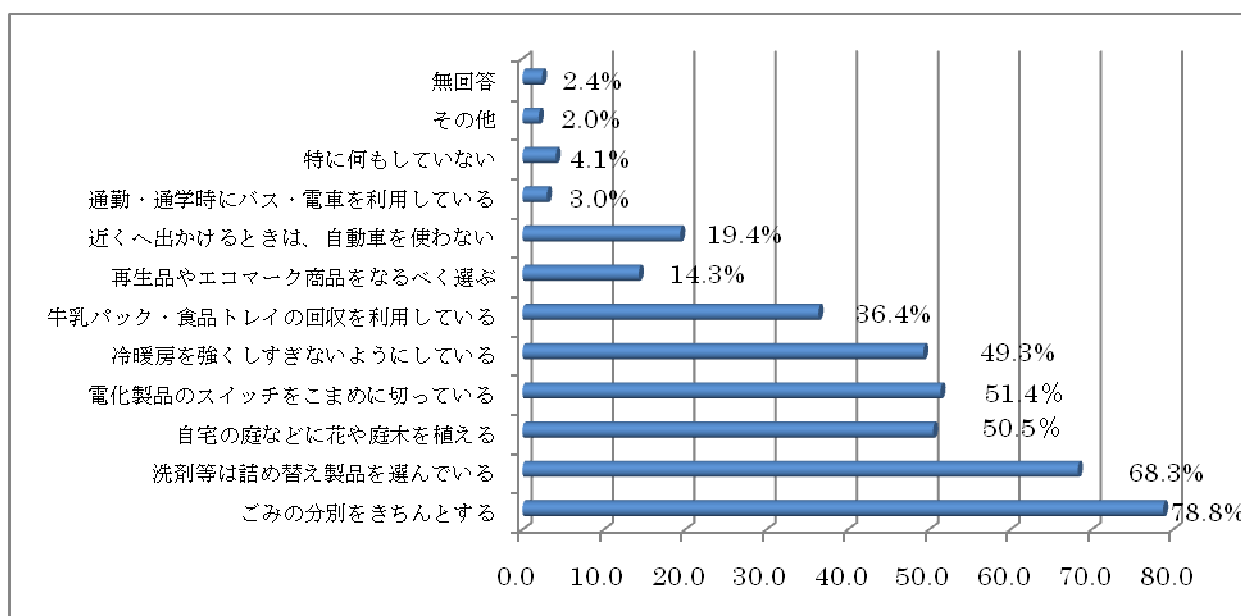


産業に対する満足度については、各項目ともに不満傾向が満足傾向を上回っており、「農林水産業の振興対策」以外の全て項目で、不満傾向が20ポイント以上も満足傾向より上回っています。

観光の振興対策	満足傾向 13.3%	不満傾向 33.4% (20.1)
農林水産加工等製造業（工業）の振興対策	満足傾向 9.43%	不満傾向 32.7% (23.3)
商業の振興対策	満足傾向 10.5%	不満傾向 34.0% (23.5)
農林水産業の振興対策	満足傾向 11.5%	不満傾向 29.0% (17.5)

### (環境問題への取組)

問3 あなたは、環境に配慮した行動として、日々どのようなことを心掛けていますか(複数回答)。



環境問題への取組については、住民の日常生活における身近な取組状況を把握することをねらいとしており、「ごみの分別をきちんとする」が78.8%で最も多く、次いで「洗剤等は詰め替え製品を選んでいる」が68.3%、「電化製品のスイッチをこまめに切っている」が51.4%、「自宅の庭などに花や庭木を植える」が50.5%で、これらが半数以上となっています。また、「特に何もしていない」と回答した人はわずか4.1%となっています。

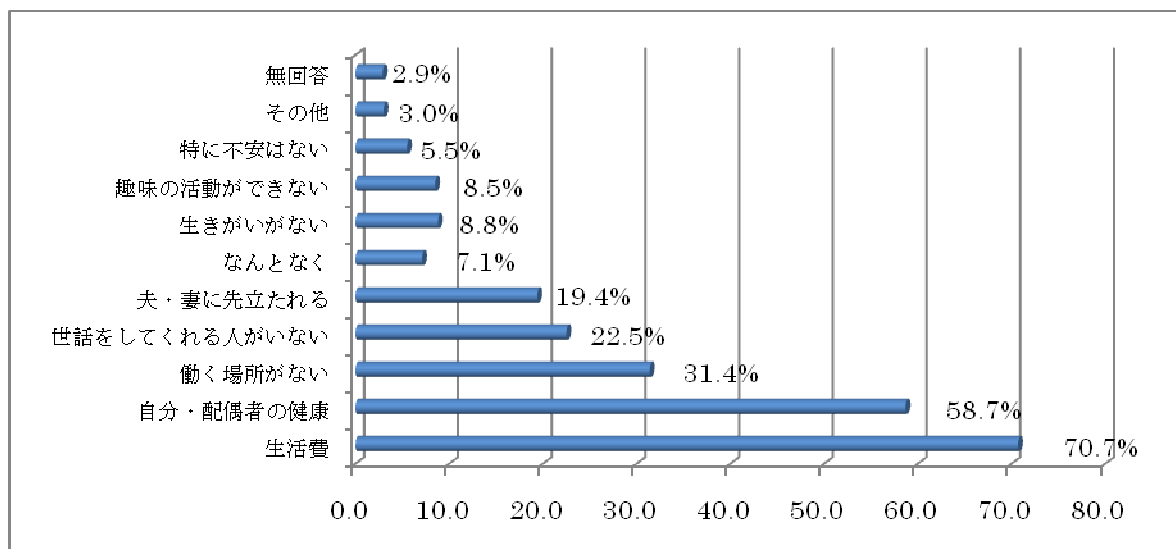
※この設問では、特に環境問題を意識しての取組だけではないものと推察されます。

#### ○その他の項目 (参考)

- ・EMの活用
- ・極力、徒歩(交通機関を使わない)
- ・マイレジバックの使用
- ・河川清掃活動に参加
- ・リサイクルの励行
- ・自転車の利用
- ・マイ箸の使用
- ・節水

### (急速な高齢化社会への対応)

問4 あなたは、ご自分が高齢になった時(なる時)に何か不安を感じておられますか(複数回答)。



高齢になったとき(若しくは現在既に高齢の場合でも)の不安については、「生活費」への不安が最も多く70.7%となっています。これは、その他の項目の回答にも出てくる老後の経済的基盤を支える年金制度への不安とも関連し、大きな不安要素となっていることが推察されます。次いで、「自分・配偶者の健康」が58.7%、「働く場所がない」が31.4%、「世話をしてくれる人がいない」が22.5%、「夫・妻に先立たれる」が19.4%となっています。

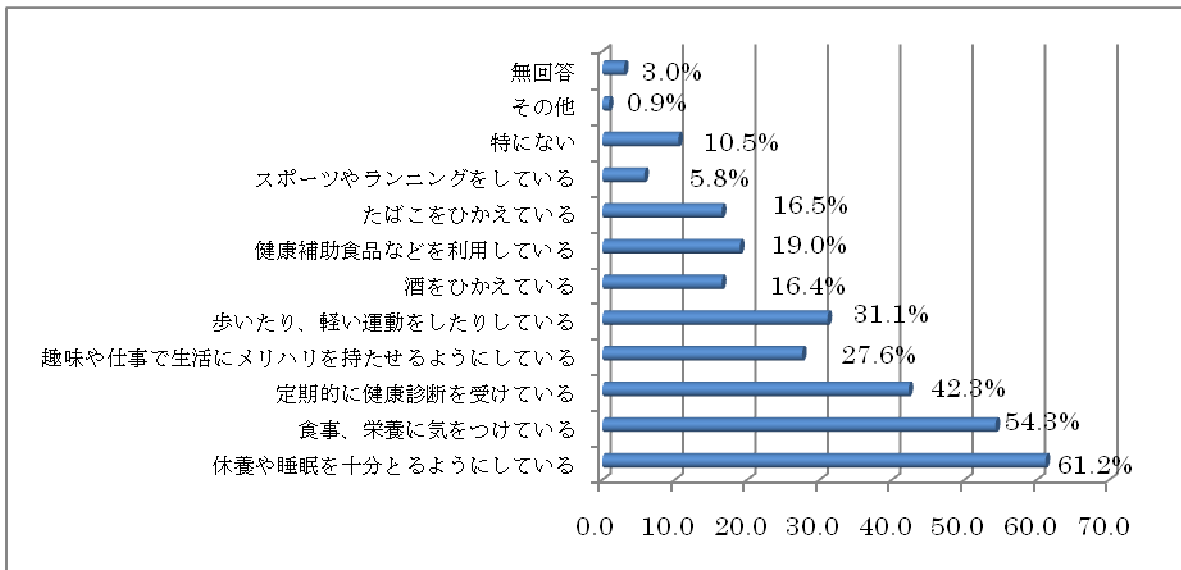
#### ○その他の項目(参考)

- ・人が少なく近所づきあいが心配(困ったときの隣人の心強さ)
- ・冬場の除排雪
- ・体が不自由(身体障害者)なため老後はとても不安
- ・同じ世代の人たちが少なくなり、寂しい
- ・高齢者介護施設の不足
- ・病気になったときの医療体制
- ・通院、買物等の利便(地域公共交通の充実)
- ・災害時の不安
- ・子供が家庭を持たないので将来が不安
- ・医療・福祉全般。
- ・年金制度への不安(老後の唯一の収入)



(健康づくりについて)

問5 あなたは、自分の健康づくりのために、どのようなことに気をつけていますか(複数回答)。



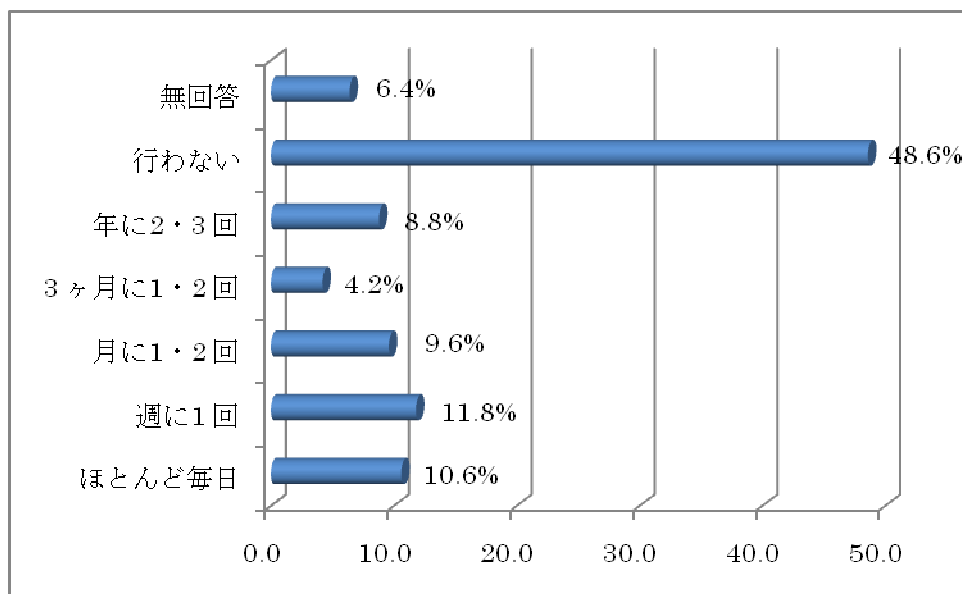
健康づくりのために気をつけていることについては、「休養や睡眠を十分とるようにしている」が61.2%と最も多く、次いで「食事、栄養に気をつけている」が54.3%、「定期的に健康診断を受けている」が42.3%となっています。年齢別等詳細な調査は実施していないものの、各世代ともに「休養や睡眠を十分とるようにしている」、「食事、栄養に気をつけている」が上位を占め、「定期的に健康診断を受けている」については、年齢が高くなるほどに関心度が高いものと推察されます。

○その他の項目(参考)

- ・筋力トレーニングの励行
- ・酒・たばこは絶対飲まない
- ・健康である
- ・体以外では常に心の安定を保つよう心掛けている(精神の健康)
- ・半身浴と温泉
- ・あまり周り(世間体)を気にしない
- ・仕事は楽しくするよう心掛けている

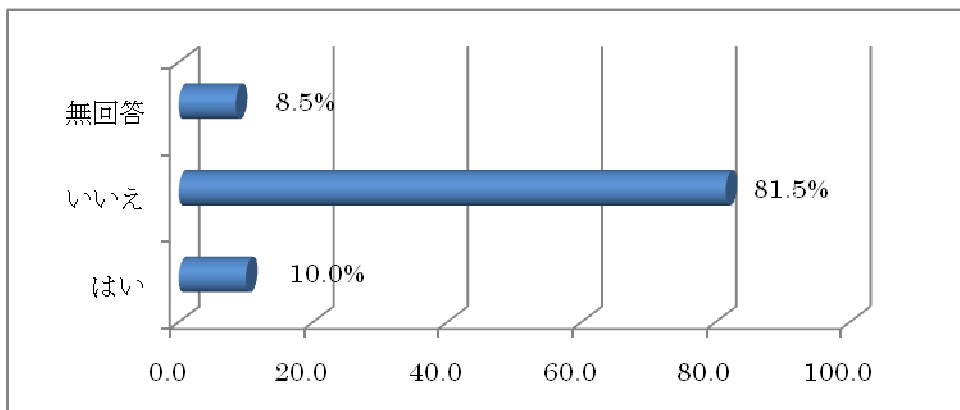
(生涯スポーツ・生涯学習について)

問6 あなたは、運動・スポーツを年間、平均して、どれくらい行っていますか。



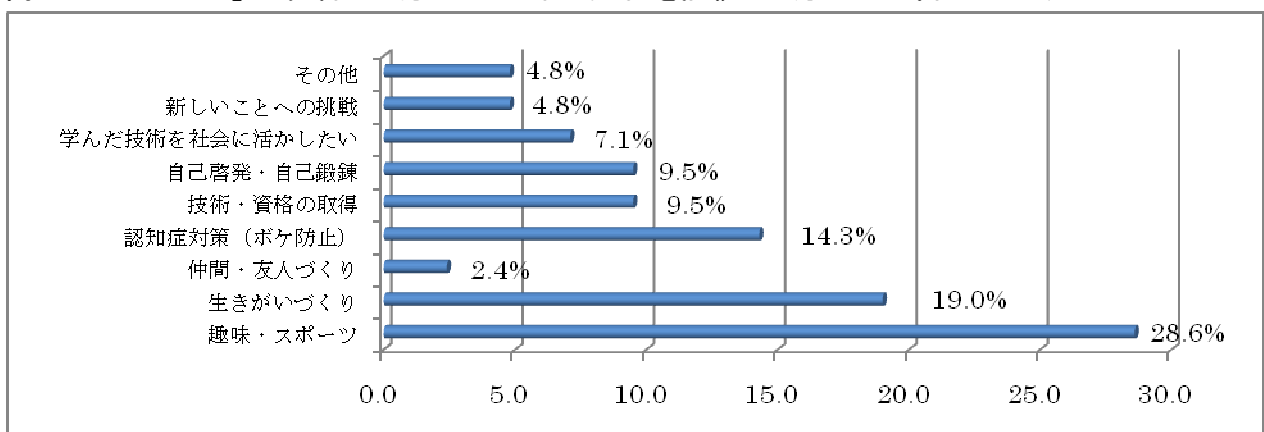
運動・スポーツの実施状況については、全体で週に1回以上行っている割合（「ほとんど毎日」及び「週に1回」）は22.4%となっています。また、「行わない」が48.6%、「年に2.3回」が8.8%で、行わない傾向が6割に近い割合となっています。

**問7 あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。**

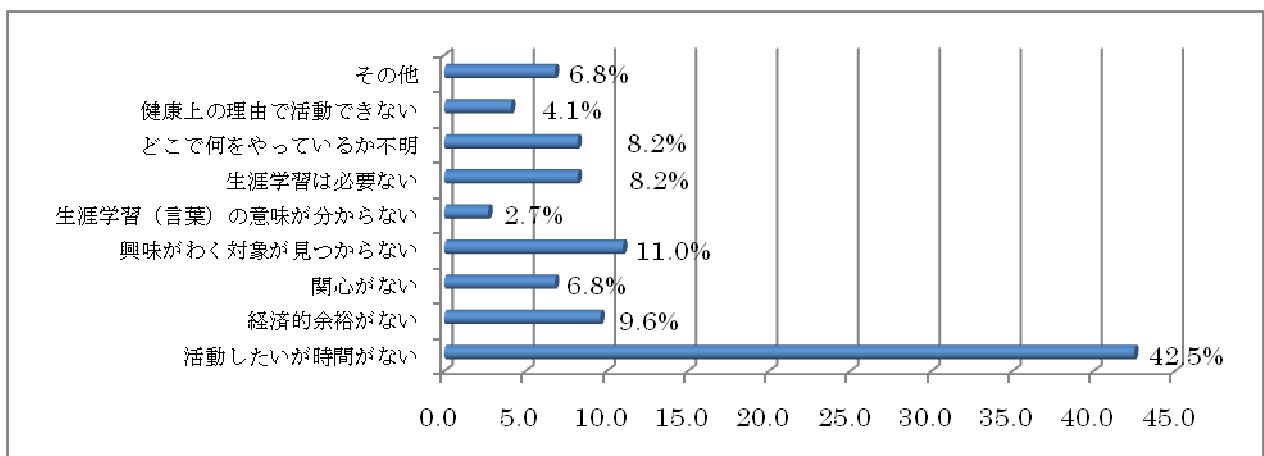


生涯学習への取組状況については、積極的に行っている割合が10.0%と極端に少なく、約9割の人が取り組んでいない状況にあります。また、それぞれの理由は下記のとおりとなっています。

**問7-1 「はい」と回答した方の主な理由（理由を記載した方みの集計による）**

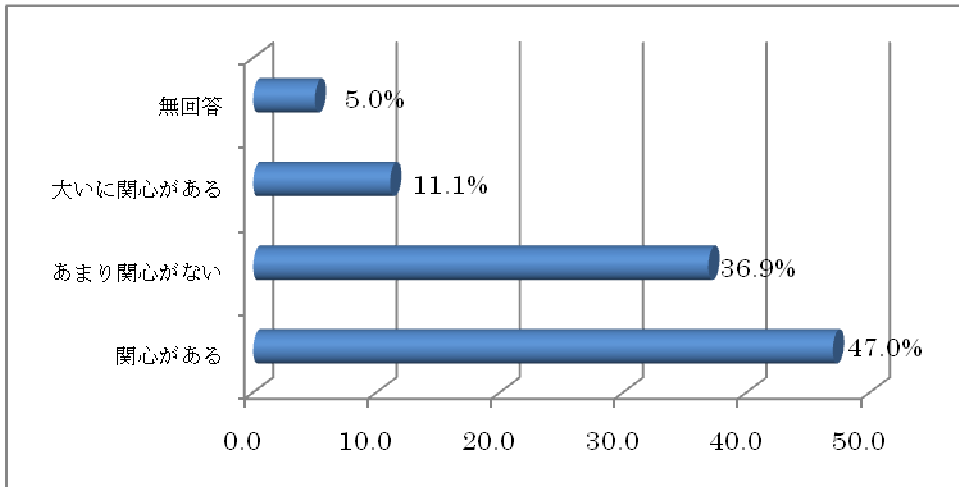


**問7-2 「いいえ」と回答した方の主な理由（理由を記載した方みの集計による）**



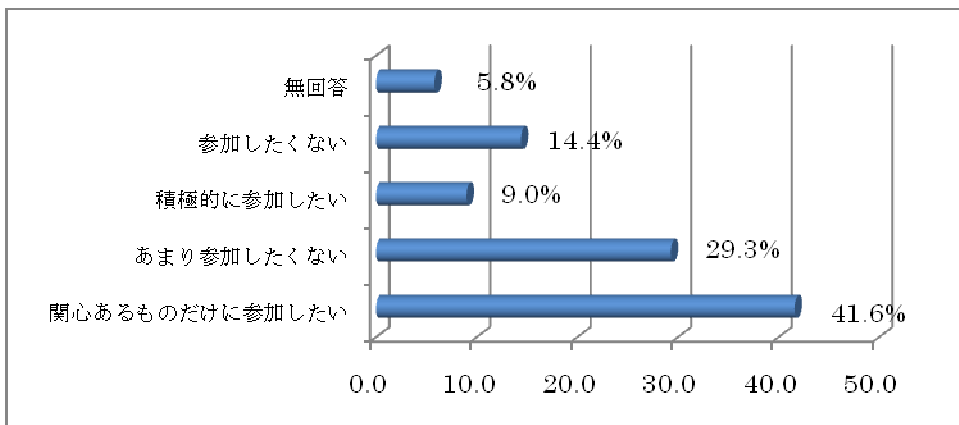
(地域づくりへの関心・意識について)

問8 あなたは、鯉ヶ沢町の地域づくりにどのくらい関心がありますか。



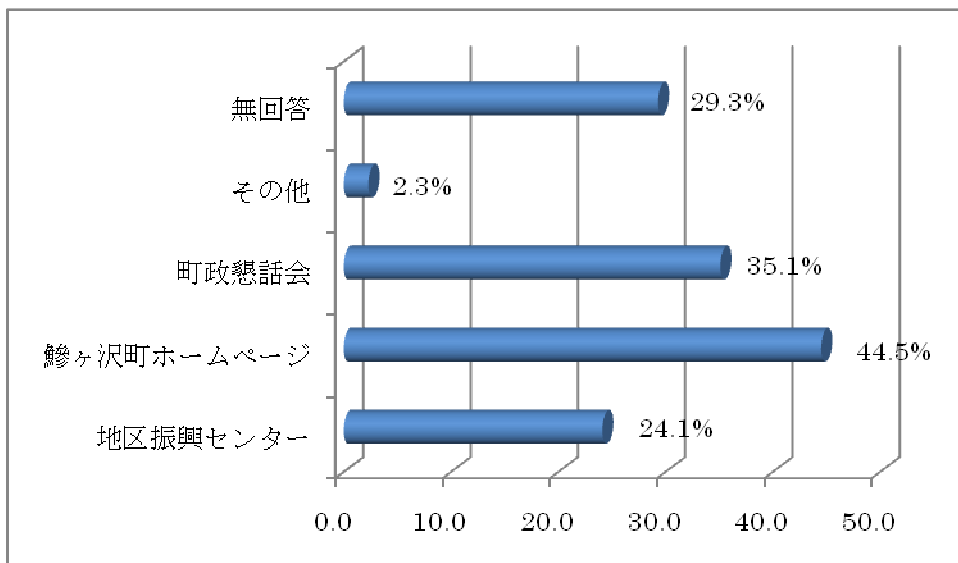
地域づくり（まちづくり）の関心度については、関心を持っている割合（「関心がある」及び「大いに関心がある」）が58.1%となっており、約6割の人が地域づくり（まちづくり）に関心を持っています。一方、関心がない人は36.9%と決して低い割合でなく、地域づくりに対する関心度の低さが明らかとなりました。

問9 町民が直接会議などに参加し、計画の立案をする機会があった場合、あなたは参加したいと思いますか。



地域づくり（まちづくり）への参加意向については、参加意向の割合（「関心あるものだけに参加したい」及び「積極的に参加したい」）が50.6%となっており半数以上の人が町政への参加意向を持っています。一方、不参加の意向を持っている人も43.7%と決して低い割合ではなく、前設問同様、今後の解消すべき課題として明らかとなりました。

問10 町では「住民と行政が一体となった協働のまちづくり」を目指し、さまざまな取り組みをしていますが、あなたは次のような言葉（制度）をご存知ですか（複数回答）。

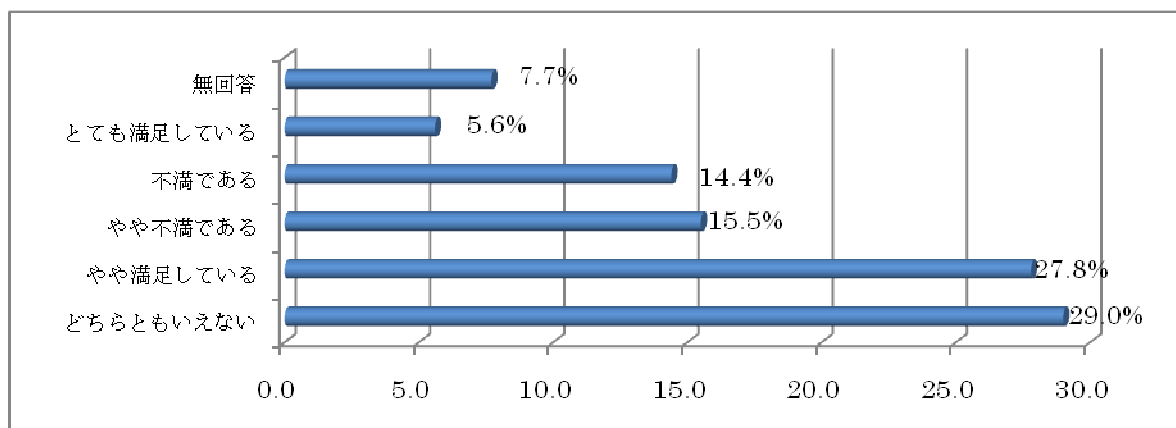


町の施策や制度等の認知度については、5割を超えている施策はありません。順位としては、「鱒ヶ沢町ホームページ」が44.5%、「町政懇話会」が35.1%、「地区振興センター」が24.1%となっています。また、「無回答」の割合が29.3%（これらの言葉を全く知らないか、関心がない割合として推察される）で、「地区振興センター」よりも高い結果となり、今後、詳細な分析の下、地域づくり（まちづくり）のアプローチを再検討する必要があります。

○その他の項目（参考）

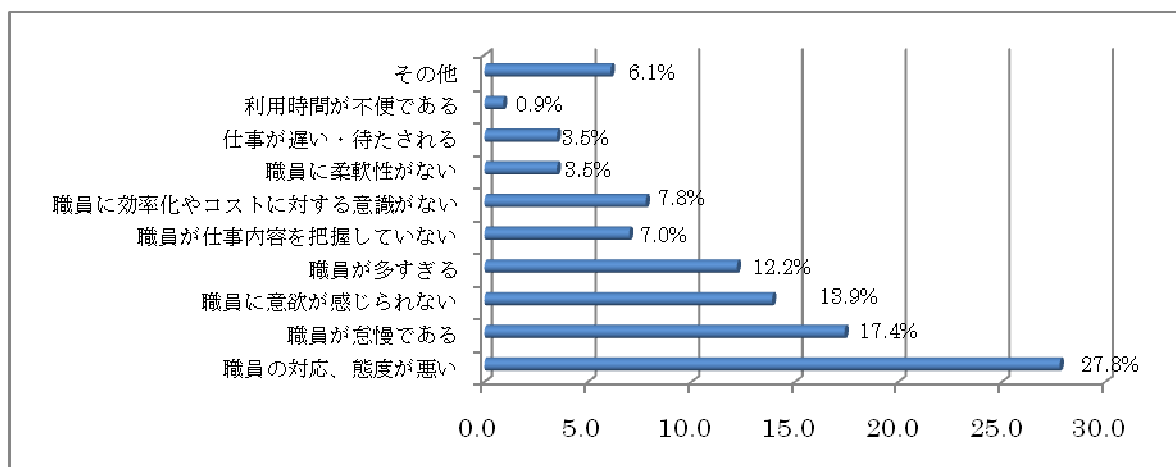
- ・よく知らない
- ・知らなかった

## 問11 町役場の仕事ぶりに満足していますか。



役場への満足度については、「とても満足している」と「やや満足している」を合わせた満足傾向の割合が33.4%で、「不満である」と「やや不満である」を合わせた不満傾向の割合が29.9%となっており、満足傾向が上回っています。しかし、「どちらともいえない」が29.0%と決して低い割合でないことから、今後も注視する必要があります（行政サービスの質の維持、向上等）。

### 問11-1 前問で「やや不満である」、「不満である」と回答した方の主な理由 (理由を記載した方だけの集計による)

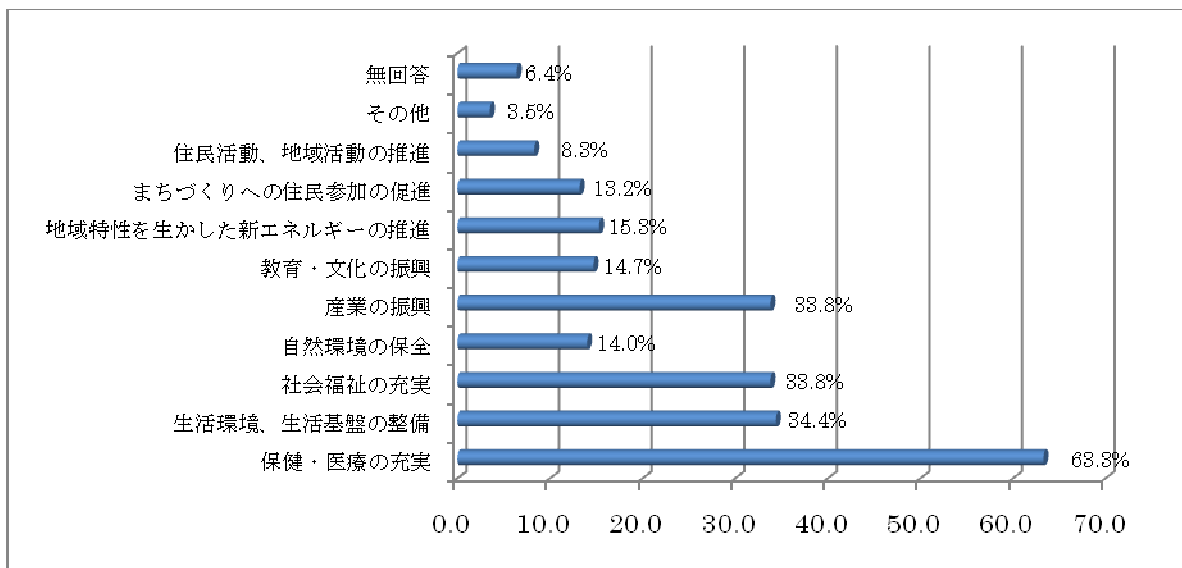


役場への不満の理由としては、「職員の対応・態度が悪い」が最も多く27.8%となっており、次いで「職員が怠慢である」が17.4%、「職員に意欲が感じられない」が13.9%、「職員が多すぎる」が12.2%、などとなっています。

#### ○その他の項目（参考）

- ・不満は数え切れない
- ・突発的な災害や事件事故に対する不安（行政への不信感）
- ・財政難を理由とする子育て等のサービスの低下
- ・高い軽自動車税
- ・観光施設周辺の環境整備が不十分

問12 あなたは、今後、鱒ヶ沢町が優先的、重点的に取り組む必要がある施策はどれだとお考えですか（複数回答）。



町が優先すべき施策については、「保健・医療の充実が」が63.3%と最も多く、次いで「生活環境、生活基盤の整備」が34.4%、「社会福祉の充実」と「産業の振興」がそれぞれ33.8%となっています。

○その他の項目（参考）

- ・町役場等の人員削減
- ・情報格差（デジタル・ディバイド）の改善
- ・ボランティア活動の推進
- ・企業誘致の奨励
- ・抜本的な雇用対策
- ・地域住民の意識改革
- ・地域公共交通の充実（交通手段の確保）

## その他意見・提言

### 【保健・医療の充実】

- ・ 少子高齢化等地域性を考慮した町独自の施策を考えるべき(子どもや高齢者を対象とした医療費無料化、予防接種無料化等の施策展開)。
- ・ 子育てに関し特色ある施策を展開すべき(安心して子どもを産み育てることができるまち等)。
- ・ 町立中央病院の時間外診察の充実を望む。
- ・ 町立中央病院が充実していないため、ほとんどの町民が町外(弘前市、五所川原市等)の病院へ行っている現状を憂慮すべき。
- ・ 町立中央病院で健康診断を受けているが、医師は満足に診察もせず言う言葉もそっけない。病院を変えようと思ったことが何回もある。
- ・ 鱒ヶ沢町に住んでいると病気になったときが心配。医療機関の充実特に力を入れるべき。
- ・ 県内の自治体病院はどこも経営が大変厳しいと新聞等で書かれていたが、地域医療は住民にとって必要不可欠なもの。病院をなくさないでほしい。
- ・ 町立中央病院の医師の対応は最悪。不安を抱えながら診察を受ける患者に対する態度ではない。不謹慎である。
- ・ 医療の充実に関して。町立中央病院に産婦人科がないのは残念で仕方ない。
- ・ まちづくりとは関係ないが、国保以外の人でも町内で特定健康診査を受診できないものか。
- ・ 病院の小児科を常設にしていきたい。
- ・ 若い人達の生活しやすい町に。子供が病気になっても遠くの病院まで連れて行くのが大変。お年寄りの生活も大切ですが、若い人達が安心して生活できるまちづくりにもっと力を入れてほしい。
- ・ 乳幼児に係る医療費の無料化を実現してほしい。
- ・ 早急に医師確保対策を実施してほしい(整形外科・産婦人科)。
- ・ 3才と10ヶ月の子を持つ母です。保育や子育てについてはすごく充実していて鱒ヶ沢は子育てしやすい所だとは思いますが、どうして病院(特に小児科)がないに等しいのでしょうか?毎回弘前まで50分、冬は1時間半かけて通っています。是非、小児科医師の常勤をお願いします。また、これは個人的な考えですが、「病児保育」があったら便利と思っています。私ごとですが、家族全員が仕事をしていて、結果私が仕事を休むしかなく、なかなか仕事に就けない境遇の人もいるのです(大変なアンケート集計ですがムダにせず是非活動を。ガンバレ!!)。
- ・ 保健、医療の充実を優先すべき。

### 【生活環境・生活基盤の整備】

- ・ 除雪対策の必要性を協議し、解決策を見出してほしい(歩道の雪で通学がとても危険)。
- ・ 除雪をしっかりとやってほしい。
- ・ 冬の交通整備をしっかりとやってほしい。
- ・ 生活道路の整備(道路の拡幅)。
- ・ 海の駅周辺の道路をもう少しきれいにしてほしい。



- ・信号が近すぎてスムーズに走行できない箇所がある。
- ・ごみ処理は大切なことだが、ゴミ袋が他市町村に比べ高額過ぎる。
- ・下水整備に不満。海の汚染が懸念（遅々として進まぬ下水道整備に対して）。
- ・使用されていない施設、用地の有効活用（旧NTT、旧法務局跡地）を考えるべき。
- ・情報格差（デジタル・デバイド）は若年層の町外流出等を招くため、早急な是正をお願いする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりをすべき（簡単なサインや標識の表示）。
- ・野焼きで空気が酷い。大阪の空気の方が何倍も綺麗。
- ・家庭排水の垂れ流しをいつまで続けさせるのか。町内の用水路が不潔極まりなく、汚臭で吐き気を催す。
- ・町内にゴミ箱を設けたりできないでしょうか。高校生を中心にポイ捨てが目立つ。町中心部にゴミが散乱しているのは、町に来た観光客も悪い印象を与えリピーターを増やせない。
- ・夜になると街灯がないところが多く真っ暗で大変危険。岩谷地区などは家の明かりはあるが街灯がないため午後6時以降では人が歩いているのもわからないような状況です。
- ・病院に行く100円～200円の送迎バスまたは福祉バスがあるといい。通院している老人は、歩行困難のためタクシーを毎回利用している。病院の時間帯に合わせて1日数回走らせる。
- ・舞戸地区にある坂本二の道路は荒れ放題、私道か農道かわからぬ。バイパス道があるからといってなんなのでしょう。昔は殿様道路だったものを行政は考えてあげるべき。
- ・冬場の除雪について。除雪の仕方をみていると道路に積もった雪をただ両側にかき分けていだけで、その雪が家の前を塞いでしまっている。その雪を除けるのが大変。特に年寄りにとっては過酷。もう少し考えて家の前に置かないように。
- ・町全部が汚い。
- ・舞戸地区以外の中村、赤石、鳴沢地区住民が生活用品の購入ができる施策を考えてもらいたい。年々買物難民が増えている（便利な地域公共交通の充実が最も望ましいが・・・）。
- ・夏は海に来る人達がたくさんいるので、はまなす公園周辺の整備を充実させてほしい。
- ・小さい子供が安全に遊べる公園を増やして欲しい。
- ・町営住宅の詳しい情報を町ホームページ等で紹介してほしい。
- ・財政難と聞いていたが新たに鳴戸地区に整備した町営住宅は贅沢すぎるのではないのでしょうか。例えばつがる市森田のようなシンプルな設計でも良かったと思う。
- ・この町に来る前、神奈川県に住んでいた。ここに来てびっくりしたことがある。町の中が汚い、ゴミがあちこちにある。水道料金がものすごく高い。神奈川県は2倍。このままこの町で下水道代も考えるとおそろしい金額になる。なんとか水道料金が安くなる事を願う。
- ・職員の方も各々の仕事で忙しいと思うが、この自然に囲まれた町、そして駅前には白神山地の町を掲げているのに、その看板の回りは草がいっぱい。C-pointでは恥ずかしいくらい草がいっぱいでした。町全体の景観を考えた場合、そこから始まるのではないのでしょうか。鱒ヶ沢に住んでいても幸せだったという人生を送りたいと思っている。活性化に繋がるまちづくりを願う。
- ・緊急事態（断水とか）の情報提供、連絡が遅すぎる。
- ・財政の健全化も重要だが、行政の義務としてシビルミニマム（住民にとっての必要最低限の生活環境基準）についても考慮すべき。
- ・景観形成や良好な生活環境づくりに努めてほしい（道路の草刈、植樹、公園の花壇設置等景観に配

慮したまちづくり)。

- ・主要観光スポットまでのアクセス網の整備拡充は必須。
- ・住環境の改善(町営住宅の整備拡充)。
- ・ゴミ一つない、きれいで美しいまちづくりを目指すべき。
- ・奥地に入るほど交通が不便。
- ・バスの本数が少ないので大変不便です。年寄りにとっては、買い物、通院など大きな問題です。
- ・利用の少ない施設管理は即刻中止すべき。生活の基本である道路(農道含)整備をもっと進めてもらいたい。
- ・平成23年度光ファイバーが全世帯利用可能となることを機に、地区振興センター等を最大限に利用したまちづくり(地域づくり)を進めてみてはどうか。マイナス要素ばかりでなく若者にも魅力を感じる鱈ヶ沢町にする上で、とても良い契機だと思います。

## 【社会福祉の充実】

- ・生活困窮者に対する支援(救済)制度等のアドバイスをお願いします。
- ・一人暮らし高齢者のための除雪作業など、シルバー人材センターの存在は大きかった。また、一方でサービスを提供するのも高齢者であり、少ない年金で生活しなければならない中、貴重な収入源でもあった。センターの再開を望む高齢者(双方の)がいることを分かってほしい。
- ・高齢者のスポーツ施設利用を無料化すべき
- ・国保税、介護保険料、医療費等が高過ぎる。年金生活者には負担が大きい
- ・一人暮らしが多いため、ゴミ出しや食事のことなど見守体制の強化を検討してはどうか。
- ・一人暮らし高齢者への弁当宅配は不公平である(それなりの蓄え、所持金があるにもかかわらず)。
- ・放課後ルーム(親にも参加を呼びかける等して)を夏・冬休みも開いて欲しい。
- ・少子化が問題となり、子供を増やすための取組の流れはよく分かるが、一方で、今の時代は共働きが多く夏休みや冬休み期間に子供を預ける場所がないなど矛盾している。
- ・高齢で自家用車を運転できなくなり、行動範囲が狭くなっていくことが不安である。高齢者の総合的な支援策を検討してもらいたい。
- ・無駄を省くことは必要であるが、高齢者を失望させるような取組だけはやめて欲しい。
- ・相互扶助の精神が溢れるまちを目指してほしい。加えて、高齢者に優しいまちを目指してほしい。
- ・安心して子ども産み育てることができる地域づくりを望む(子育て女性の雇用改善)。
- ・買物難民(特に高齢者層)が今後増えることが予想されるので、その対策が必要(高齢者が生活しやすい優しいまちづくり)。
- ・ゴミ一つない、きれいで美しいまちづくりを目指すべき
- ・将来、一人暮らし老人等が増えると思うので、安全で安心な暮らしのため、ボランティア活動などサポートしてくれる人達が増えると良い。
- ・老人と子供の交流がもっと増やしてほしい(特にお年寄りが元気になるような気がします)。例えば、小学生の土曜日のお休みを利用して等。
- ・学校の統合も大事だが、子どもを安心して産み育てることができる取組や施策がなければ、鱈ヶ沢の将来が心配です。

- ・冬期間一人暮らしの老人宅の雪片づけをして欲しい。
- ・皆さんが安く入れる福祉施設を多く作ってください。
- ・もう少し福祉の方に力を入れてください。
- ・介護予防の取り組み。高齢者同士の集まりなど交流の場を提供する。
- ・弱者にも手を差し伸べられる「やさしい町」を望みます。住民の本音が聞こえる場に出向いてください。
- ・高齢化に備え、高齢者対策を充実して欲しい。

## 【自然環境の保全】

- ・他市町村と比較してもすばらしい環境は町の大きな誇り。このまま変わらないでいてほしい。
- ・白神山地を「売り」にしているにもかかわらず、低レベル放射性廃棄物の誘致には納得がいかない。鱒ヶ沢の物産の不買運動も懸念される。財政難は理解できるが勝手にどんどん進められている印象がある。
- ・風力、バイオマス等自然エネルギーの活用を積極的に導入すべき。
- ・今の鱒ヶ沢は、仕事はないし若者は減少、高齢者が増えて、この町自体が昔に比べて変化して、IT産業や社会福祉に力を入れている。できれば、豊かな自然環境の活用方法にも力を入れてほしい。
- ・最近自分が読んだ資料に森林と海は密接な関係があるという情報を見つけた。環境問題が取り上げられている今日では、自分たちにできる事に取り組むという重要性を感じた。更に、その結果がもたらした影響には希望が感じられる。海の磯焼けで海の砂漠化が進んでいく中で、そこに海藻が生え、魚がもどる、それが植林にあるということでした。町を活性化したいと真剣に考えるのであれば是非そんな所にも、興味を持てたらと思う。とにかく、何でも子供達の未来に希望が持てる行政の取り組みを期待する。
- ・わさおの人気にあやかってばかりでなく、町が誇れる自然環境の保全活用にもっと力をいれるべき。海岸をきれいにし、町内の草刈り（特に拠点館など）を町内全体に声掛けし、町全体で取り組む。町民が意識を高め行動できるようになればベスト。短期間ではなく、長期的な視点で。初めは点でもいつか線または円になれるように、行政の働きかけが必要。
- ・鱒ヶ沢町の良い所（山や海）を目玉に出来るよう環境を整えるのが良い。

## 【産業の振興】

- ・町の特徴を生かした活気ある産業がない。全町をあげ一致団結できる何かがあるところ。
- ・高齢化により衰退著しい一次産業振興のため、後継者育成を促すべき。
- ・海、景観等を生かした集客イベント(C-POINTとか)を実施し、町内外からの集客を図ってはどうか。
- ・鱒ヶ沢は海と山に恵まれたまち。その活用については、様々なアイデアが出てくると思う。
- ・鱒ヶ沢は海、里、山、川、すべてが一流と思う。地域資源を活用した観光振興、オフシーズンは首都圏などへの農水産物加工品出荷で収入を得ること。せっかく貴重な海産資源がありながら加工製品が少ないのは残念なこと。
- ・自然、食、温泉等を活用し観光客のリピーターや、音楽など様々なジャンルでの集客を図ってはどうか。

か。「わさお」だけでは飽きられてしまう。

- ・海、釣り、スキー、岩木山、おいしい空気などを売りにして、空き家を町が安価で買い上げ首都圏向けにセカンドハウスとして売り出せばどうか。節約だけでなく、プラス思考でも考えるべき。
- ・町の観光PR強化。
- ・イベントなどの広報活動が足りないように感じる。町外から集客できるような商品やイベントがあればいいと思う。
- ・もっとイベントなど観光客をひきつける取組をしないと町はさびれる一方である。
- ・囃子競演会は大変良かったが、C-ポイントが今年で終わるのは残念。
- ・渚ブリッジと隣接の公園を活用したイベント等を考えてみてはどうか。
- ・多くの観光客が訪れる海の駅へのリピーターを増やすため、心のこもった接客をする。あじ菜感の写真等が古くなっているため、時々交換すべき。
- ・大高山運動公園の遊具を海浜公園に移設し海の駅との一体化を図ってはどうか。
- ・新幹線開業間近で、町外からの観光客も多くなると思われることから、町の宝である自然資源のPRの一方で、道路等アクセス網の整備や、宿泊施設の充実が求められる。
- ・若者の地元雇用の創出、新幹線開業を踏まえた商品開発や行政と住民が一体となったまちづくりを進めてほしい。
- ・働く場の創出(職安がないのは不便)。
- ・若年者の雇用対策に力を入れてほしい。
- ・50代の雇用の場がない。
- ・若年者から高齢者まで雇用の場がない。企業誘致をしてほしい。
- ・若年層の雇用の場が少なく、このままでは村(人口減少による規模縮小等)になる。若者の雇用創出を実現してこそ、豊かな将来を描けるのではないか。
- ・「イカ焼き村」のブランドを制定してみてはどうか。びっくりするくらい不味い焼きイカを売っている場所があり、観光客も逃げ出してしまう。
- ・海水浴客や釣り人を対象とした集客施設を整備した方が良い。
- ・新しい町営住宅がオール電化仕様と聞く。贅沢過ぎる。関連業種、業者のことも考えてのことか。民業圧迫ではないか。
- ・C-p o i n tの再開について。主催は町ではないが、住民主体でこれだけ大きく、全国から人が集まっているのになぜ継続に向けてバックアップできないのか。今、鱒ヶ沢町で外からお客様を呼べるイベントはこれしかない。どこにでもあるイベントではなく、出店する側もお客様もお互いに楽しめるこのようなイベントは他にはないと思う。このイベントと連動したイベントがなぜできなかったのか。今年で最後と聞き大変残念。これからは、どんな施策を打つのか非常に不安。
- ・駅前、はまなす公園の整備(草刈り等)、大高山などの枝切り、積極的に町に来てもらうためのアピール。
- ・はまなすの実の研究はどうなったか。鱒ヶ沢町独自の特産で、商品を販売してはどうか。鶴田町の道の駅で販売しているぶどうのアイス、ぶどうを練り込んだうどん、ぶどう入りお菓子など。新潟の道の駅ではクラゲ入りこりこりした食感のソフトクリームなどがある。はまなすの実も60代の人から聞いたが、昔は食べていたとの事。はまなすの実の他にアスパラ、菜の花、ラベンダー、海の幸、山の幸がいっぱいありそうだが。

- ・若い人たちの働く所を作ってほしい。七里長浜港活用促進の一環として海上自衛隊との連携を考える。
- ・町村合併当時、人口2万6千人以上あったのが半分以下に減っているのに対策を立てていない。企業誘致など若い人達が定着できる対策を立てるべき。
- ・鱒ヶ沢町は海あり山あり川ありのすばらしい町だと思う。しかしそれを利用した町の観光が少ないと思う。海は船を利用した観光、山はバス等で観光、川は釣り等で大いに人を集めれば町の活力になる。また、様々な昔話もあり、少し掘り起こしてみたら、おもしろいと思う。町民全てが活気のあるまちづくりを希望する。
- ・せっかく海があるのに釣り場が少ない。結局整備されている深浦の海水浴に人が流れてしまう。わさおで観光客も増えてきているのだから、何か鱒ヶ沢の売りになるようなものがあるといい。ブログでも、鱒ヶ沢で何か引き込まれるようなものがあれば地方の人も食いついてきてくれる。意外と人の口コミも力がある。
- ・町内に仕事がないのは若者が町外に出て行ってしまう1番の問題です。新幹線も来る事ですし、観光にもっと力を入れて若者が働ける場を作って欲しい。
- ・わさおは、鱒ヶ沢の観光大使。これからもっと観光客が増えると思う。しかし、駐車場が狭いのであの辺が渋滞するのはいかがなものか。町でどうにかならないか。
- ・新幹線が青森まで来る。一度来町した方がまた来たいと思える鱒ヶ沢町になれば最高。町も人の心も迎え入れる気持ちが大切。
- ・財政難というのは承知ですが、今の鱒ヶ沢町は寂しいイメージしかない。せっかく山、海と自然に恵まれているのもっと観光客が来てくれるようイベントやら施設利用などで町のアピールが必要。年に何日か賑わう位では話にならない。
- ・最近、新幹線全線開通が半ば合い言葉となり県内各地でその対策を検討中のようなのであるが、私達の町ではどのような対策を検討しているのか分からない。わさおで町おこしをしようとしているように見えるが、もっと長期的視点で考えてほしい。他市町村に負けない観光・産業振興に取り組んでほしい。それを考えられる人材の存在も必要。
- ・わんどの閉店（夏場）が夕方6時では早すぎる。5月のゴールデンウィークのときも品数が少なかった。活気がない。春から秋にかけて、「リゾートしらかみ」の到着に合わせて甘いおいなりさんとか笹もちとか焼きイカを停車時間内もしくは車内で販売してはどうか。海が見えるのも鱒ヶ沢がはじまりである。自信を持って鱒ヶ沢をアピールした方がよい。山菜刈りツアーとか海の幸食べ歩きツアーとか色々企画した方がよい。
- ・若い人達の働く場所がなく町外へ働きに出ている人が多いと聞いている。次世代を担う若い人材が町に定着して働けるよう環境を整える努力をお願いする。わさお人気だけに頼らずもっと当町の観光資源などを広く知ってもらうように商工会等とも協力して他町村（つがる市、深浦町）のようにテレビCMやインターネット等を利用してみてはいかがでしょうか。
- ・農業、漁業の抜本的な振興（地場産品等高付加価値化の取組）に努めるべき。
- ・鱒ヶ沢産でかつ「売り」となる特産品は確実に存在する。広範な販売戦略（インターネット等も視野）の展開が必要。
- ・誰でも気軽に参加できる物産（交流）イベントを実施すべき（深浦町のチャンチャン焼きのようなイベント）。

- ・農林水産業を後継者の育つ産業にして欲しい。
- ・農家をもっと応援して欲しい。
- ・5地域全体でまちづくり委員会をつくる。各地域での取組もいいが、産業振興へ力を入れた方が良くと思います。
- ・子供から年配までふれあいができる様なサイクリングロード等を設置して欲しい。
- ・若者が働ける場所、安心して家族がもてる町づくりをして欲しい。
- ・観光地が沢山あるのだから、もっとアピールして人を呼び込んで欲しい。
- ・小学校の跡地へ新しい産業をおこしてほしい。
- ・第一次産業の農業に力を入れて欲しい。大きい農家だけを助けるやり方はいけない。
- ・農業、漁業がうまくいけば自然に町づくりはうまくいく。

### 【教育・文化の振興】

- ・観光スポットとして、また古き良き街並みとして保育所下のポケットパーク（井戸）を復活してほしい
- ・長期的な視点に立ち、子供たちに自然の豊かさ、歴史と文化の深さを教えることで、地域を支える人材を育むことが、将来的に町に恩恵をもたらす基礎となるものと思われる。
- ・文化財を紹介してくれるところがあればいい。
- ・小中高校、会社等で歩行者は右側、自転車は左側をそれぞれ一列で通行するというのを、きちんと教えるべき。
- ・失礼ながら役場の職員のみなさんは自分たちが生まれた国の知識や教養があまりないようです。そのため、歴史、文化の価値がわからず安易に考えて壊している傾向が見られます。これでは、衰退を免れないのは当然です。これ以上歴史、文化を壊し、また形骸化させないようよろしくお願いします。
- ・来年度は学校統合により、未利用校舎ができるのでそれらの施設の活用を力を入れて欲しい。保育所の充実のため関係職員の育成に努める。社会教育、屋内外スポーツの発展を願う。
- ・学校予算が削減されることは子どもたちにとって不幸です。町には必要最低限の予算確保をお願いします。
- ・スポーツ関係のイベントは多いが、本屋さんもなく子供達が豊かな文化芸術に触れる機会が少ない。
- ・教育の充実を図ることが重要（この場合の「教育」とは、児童生徒の学校教育のみでなく、地域づくりを担う人材の育成も意味する）。
- ・私には子供が2人いますが、将来鱒ヶ沢に帰ってきて欲しいとは全く思いません。何の産業もない、教育も特徴もない、町全体が死んでしまっているような所で生活をして欲しいとは全く思いません。鱒ヶ沢町の子供達は、教育すればもっともっと他地区に出してもレベルの高くなる子供達が沢山いると思います。鱒ヶ沢町ならではの教育や学校運営等をすればどうでしょう。私は町外出身者です。鱒ヶ沢に来て思った事は、島国根性が強く他者を受け入れない人が多い。鱒ヶ沢町の衰退の原因はその閉鎖性にあります。
- ・子供たちの元気なまちづくり、小中学校の教育環境（施設等）の充実。

## 【行財政改革の推進】

- ・町には、今、無駄な助成金等支出の排除（役場内の意識改革等）、町職員への教育の徹底（税金を投入していることの重要性や赤字に対する危機意識の醸成）、経済効果のないイベントの排除（集客や収支均衡等を考慮）等々が求められる。
- ・財源を確保するための事業仕分けを役場内外で実施すべき。
- ・（ことの大小はあるが）夕張市にならないよう収入源を考えるべき。
- ・予算の無駄遣いをしないでほしい。大切なお金を今から貯金してほしい。給与に見合った仕事をしたい。
- ・公民館から地区振興センターに移行したが、センターの内容が理解できない。町民のニーズからかけ離れたような気がする。
- ・議員数が多い、日当制にすべき。議員報酬のカットも。
- ・無駄な施設（渚ブリッジとか）はつくらず、町の発展に役立つ施設をつくってほしい。
- ・軽自動車の税金が上がったのは意味不明。財政運営が厳しいのであれば、職員数の削減等人件費を抑制すべき。暇そうな職員がたくさんいる。
- ・今までの施策を全て見直し、新しい鱒ヶ沢のまちづくりを目指すべき。財源の効果的な活用を切に願う。
- ・必要な施策への有効投資、費用対効果を考慮し、年寄りが安心して暮らせるまちづくりをお願いする。
- ・町のイベントが少ない。はまなす公園の夏の利用方法、お金をかけず利益が取れるよう考える。町営プールを利用したフィットネスクラブ。
- ・人員削減や事業の仕分けをさらに進めること。
- ・町人口に比して町職員、町会議員数が多く、経費増では将来、5年先の事など計画不可能。土台から直してください。
- ・議員定数の削減を。人口から考えて思い切って9名でよい。給与も日当制でよいのでは。
- ・旧幼稚園の活用を早急に考えるべき。
- ・不景気で仕事がない。会社のリストラなどで、所得が減少する中、公務員にボーナスが出るのはおかしいと思う。もう少し、職員を減らして町財政を立て直した方がいいのでは。民間の会社では、ボーナスカットなどしている。
- ・財政赤字の解消策として職員ボーナス等の減額を実施すべき。
- ・統合により廃校となる校舎の有効利用に努めて欲しい。
- ・現在週に1度、体育館を利用して仲間達と健康維持のためスポーツをしています。廃校になった後の利用はできるのか。
- ・公民館に職員を置いているが、何の仕事をしているのかサッパリわからない、無駄ではないか。
- ・職員の勤務状態から職員（数）は削減すべきである。町議会議員も同様である。議会広報を見ても質問人数は少なく、内容も稚拙である。
- ・定数削減を望む（職員）。
- ・職員に活気がなく担当業務以外は無関心（全部ではないが）。
- ・各種委員会に女性の登用を（約3割近く）！

- ・財政難であれば、有識者の方の意見をたくさん聞くのもよいかと。
- ・町職員の採用も、鱒ヶ沢町内だけではなく、もっと町外から採用してはどうですか？やる気やアイディアをもった人材が数多くいると思います。
- ・破綻寸前のまちでボーナスが出るのはおかしい。町の再建のため人件費カット、議会の縮小をやってほしい。
- ・町職員の給料、ボーナスの引き下げを行うべき。
- ・外の放送が聞こえない、スピーカーを増やしてほしい。何があってもわからない。
- ・起債償還のピークが過ぎても現状のまま引き締めてやってください。
- ・財政難を打開するために行っている事を分かりやすく町民に示してほしい。良いまちづくりのため、頑張りましょう。
- ・役場職員を減らし、議員も減らし、民力を活用した町運営への移行を考慮してみてはどうか。
- ・税金のために仕事をしているのではない。ばからしい。
- ・国保をもう少し安くして欲しい。負担がばかにならない。
- ・役場内の雰囲気は暗いと思う。

### 【まちづくりへの住民参加の促進】

- ・何をやるにしても町民の意識改革(町の現状を理解し協力する)が必要。一方で、無関心な高齢者に憤りを感じる。
- ・各地域が各々の活動に取り組むのではなく、町全体が1つになって行動を起こせる何かを見つけ出すことが、今後の鱒ヶ沢の糧となる。
- ・数多くの住民をまちづくりに参加させる工夫が必要。
- ・単位町内会の活動を十分に発揮してもらいたい。

### 【その他】（町政全般）

- ・町民のことを一番に考えた取組がほしい。
- ・まちづくりの前に子どもを増やさないと町に誰もいなくなる。
- ・若者にとっても、高齢者にとっても魅力を感じるまちづくりを目指すべき。
- ・町長さん、頑張ってください。
- ・未来のない貧しい鱒ヶ沢に意見など求めてどうするのか。
- ・まちづくりとは何を意図しているか理解できない。
- ・税金を安くしてほしい。
- ・町民一人ひとりが町の発展を考えるべき。
- ・(10年前に帰郷したが昔に比べ)活気がなさ過ぎる、前向きではなくただ流されているようなけだるさがあり私自身も流されそうになる。町は予算がないことばかりで、道路も悪く躓きそうだ。
- ・バス事業は入札するべき。
- ・断水時の対応が悪すぎる。町をあげての緊急対策ができていない。
- ・火葬の手続きで日曜日に役場に行ったところ、職員が休日返上で対応してくれ心から感謝している。



- ・役場職員は鱒ヶ沢町に住んでほしい。
- ・町民はあまり町のことを考えていない。特に町議会議員。
- ・町のサル対策により農作物の被害がなくなり感謝している。
- ・気軽に利用できる体育施設がない。特に冬場、日本海拠点館の中に運動スペースを設けてはどうか。
- ・出稼ぎから帰ってくると、鱒ヶ沢の良さを改めて実感する。存続を願っている。
- ・「わさお」と呼ばれている犬がいる店の前が危険極まりない。付近で死亡事故があった過去は封印されたのでしょうか。
- ・「ごくろうさま」は上の人間が下の人間に対して使う言葉ということをご存知でしょうか。役場の表口の「ごくろうさま」の表記、恥ずかしいです。役場職員全員が「自分はお役所様」と思って働いているのでしょうか。
- ・早朝、犬の散歩をよく見かけるが3匹以上つれて、しかもリードを付けないでいる人がいること。犬の糞の始末がされていないのが多い。飼い主のマナー向上のため、呼びかけ、チラシなど広報がもっと必要。
- ・役場職員の対応がとても感じが良く、親切で感謝している。
- ・町会議員に活躍してもらいたい。地域活性化、少子高齢化、雇用問題、町独自のブランド商品の開発。観光で来るお客様に、また鱒ヶ沢に行ってみたいと思わせる町に。
- ・医療廃棄物絶対反対。
- ・行政は町民目線でとらえる視点を大事に。5年以内にスタートから完成に至るとは考えずに5年以内にできるだけ早急にスタートさせたいという思いで。若者の定住促進のため、就業の確保からも未来展望のある産業振興策、安心・安全な子育て、教育のできる環境整備も含めて生活環境、生活基盤の整備を。県外、特に都市圏からの移住受入促進のために、農林漁業を対象に一定の就業体験期間（1年間）を設け、多岐にわたり積極的な援助・補助を。医師確保のために、将来は鱒ヶ沢町の医療に貢献・従事することを条件に、奨学金給付制度を創設してみてもどうか。
- ・核のゴミは持ち込まないようにしてほしい。青森県も鱒ヶ沢町も。
- ・町民のために役場職員も大変だと思う。頑張っているのが見えます。
- ・職員、町民が一同になって頑張りましょう。
- ・このアンケートはとてもよろしい。
- ・核のゴミは絶対いらないし、原発は絶対反対。山と海をもっと大事にしていかなければならない。小・中・高、校歌にもでてくる。
- ・今の鱒ヶ沢は人口が減っていくのがとても気になる。若い人達が住みやすい（住宅や医療や教育）など魅力ある町になればと思う。
- ・なんだか納得がいかない。弱者をいじめているような、とても生活しにくい町になってしまったように思う。これでは、若者は町からどんどん離れていく。
- ・犬一匹に頼るのはどうかと。核燃でももってきて特色ある町づくりを進めてほしい。
- ・核のゴミを持って来ることは絶対反対。将来の子供達にツケを廻すような事は絶対に止めていただきたい。
- ・若者達が元気になる町にしてほしい。
- ・時々まちづくりという言葉を目にするが、何をしているのか町民には見えていない。頑張っているのは当事者だけであって私達にははっきり言って興味のわいてくる事は耳に（目に）入ってこない。

やっている事などもっと分かるようにしてほしい。

- この鱒ヶ沢町だけに住んでいて、いろんな面で揉まれていない人ばかりと、農業や漁業が衰退し生活しにくい中で、若い人達の意見も取り入れ、前向きに進んでいかない限りこの町はだめになる。人の足を引っ張ることだけや悪口だけを言う人が多いように感じる。役場の人達も住民のことを考えて、仕事してくれればいいと思うが、のんびり仕事している人達も見受けられる。たくさんいいものがある町なのに今ひとつ元気がない町です。これからの発展を望んでいます。
- 役場の皆様は一生懸命で日々感謝しています。今は仕事を中心に、また体力的にも余裕がないため、まちづくりに参画できずにいます。
- 働く場所、公共料金を安くして明るい町、活気ある町にしてほしい。
- 町長はじめ古い方々だけの慣習にとらわれず、学識のある方を上部に取り入れ町内ごとの話し合いをもっとしてほしい。
- まちづくりを一言で語ることは不可能であり、その道程は険しいことも百も承知している。行政側には地道ではあるが継続的な取組を期待している。
- 人口減少時代の到来だからこそ、人と人の心のつながりを大事する地域を目指すべき。
- 行政、住民、各団体等それぞれの役割を明確にし、相互に協力連携する（できる）環境が望ましい。
- 町の中心が年々衰退しているような気がします。
- 行政という枠を越えた仕事が出来たらいいと思います。
- 若者が定住出来る町、子ども達が多い町になれば良いと思う。
- とにかく周りに若者、子供がいないので、これからこの地域がどうなるのか心配です。
- 町の良さを再認識できる行事が出来ればうれしい。アンケートはすばらしい企画だと思う。
- 潜在的な可能性が沢山ある町だと思うので、「想い」のある方々を結びつけて線にして欲しい。